

3 学生支援センター

学生支援センターは、学生生活及び就職活動に対する支援、修学に係る相談等を行っている。運営に当たり委員会を置き、各学部等から委員が選出されている。審議内容等は、学生相談、生活支援及び就職支援等である。当該支援業務の事務は、学生支援課が各学部の学生支援担当係と連携を図り行っている。令和元年度の主な支援等の事項は、次のとおりである。

3.1 入学料免除及び徴収猶予

入学料について、学部生においては、特別な事情（学資負担者が1年以内に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について、また、大学院生、専攻科生においては、経済的理由により納入が困難、かつ、学業優秀と認められる場合又は特別な事情により納入が著しく困難な場合について、修学を支援するため、免除及び徴収猶予を行っている。

また、東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について、免除を行っている。

3.1.1 免除申請者数、免除者数

令和元年度入学料免除申請者数、免除者数は、次のとおりである（詳細は資料3.1.1のとおり）。

4月1日入学：免除申請者数 100人、免除者数 89人

10月1日入学：免除申請者数 7人、免除者数 7人

3.1.2 徴収猶予申請者数、徴収猶予者数

令和元年度入学料徴収猶予申請者数、徴収猶予者数は、次のとおりである（詳細は資料3.1.2のとおり）。

4月1日入学：徴収猶予申請者数 17人、徴収猶予者数 16人

10月1日入学：徴収猶予申請者数 0人、徴収猶予者数 0人

3.2 授業料免除及び徴収猶予

経済的理由により納入が困難、かつ、学業優秀と認められる学生又は特別な事情（学資負担者が納入期限の6ヶ月以内（入学者については、入学前1年以内。）に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について、修学を支援するため、免除及び徴収猶予を行っている。

また、東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について、又は学部生及び大学院（修士課程、博士前期課程及び専門職学位課程）に在籍する、成績が特に優秀な学生を対象として、免除を行っている。

3.2.1 免除申請者数、免除者数

令和元年度授業料免除申請者数、免除者数は、次のとおりである（詳細は資料3.2.1のとおり）。

前期：免除申請者数 756人、免除者数 682人

後期：免除申請者数 737人、免除者数 660人

3.2.2 徴収猶予申請者数, 徴収猶予者数

令和元年度授業料徴収猶予申請者, 徴収猶予者数は, 次のとおりである (詳細は資料3.2.2のとおり)。

前期: 徴収猶予申請者数 0人, 徴収猶予者数 0人

後期: 徴収猶予申請者数 0人, 徴収猶予者数 0人

3.3 寄宿料免除

本学では, 学生本人又は学資負担者が風水害等の災害を受け, 納入が著しく困難と認められる場合, 免除を行っている。

3.3.1 免除申請者数, 免除者数

令和元年度寄宿料免除申請者数, 免除者数は, 次のとおりである。

免除申請者数 0人, 免除者数 0人

3.4 奨学金

本学では, 日本学生支援機構の奨学金と地方公共団体や民間奨学団体から本学に募集依頼のあった奨学金を扱っている。これらの奨学金は, いずれも学業・人物ともに優秀であり, かつ健康であって経済的理由により学資の支弁が困難であると認められた者が対象となる。

なお, 日本学生支援機構の奨学金には, 無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金と返還不要の給付奨学金があり, 貸与奨学金は, 貸与終了後に返還が必要となる。

3.4.1 日本学生支援機構奨学生数 (令和元年10月1日現在)

第一種: 学部生 991人, 大学院生 239人

第二種: 学部生 748人, 大学院生 20人

給付: 学部生 62人, 大学院生 0人

(詳細は資料3.4.1のとおり: 「学部生」には, 専攻科生を含む。)

3.4.2 日本学生支援機構以外の奨学生数 (令和元年10月1日現在)

学部生 75人, 大学院生 7人

(「学部生」には, 専攻科生を含む。人数は, 延べ人数でカウント。)

3.5 学生相談体制及び学生相談

本学は, 次のような学生相談体制を設け, 学生の個人的な問題や悩みごとについての相談に応じている。

3.5.1 学生相談体制

全学の学生を対象に荒牧キャンパスに学生相談室を, また, 理工学部の学生を対象に桐生キャンパスに学生相談室分室を設けて相談に応じている。

3.5.2 主な相談事項

主な相談事項は, 勉学・進路・就職活動, メンタルヘルス, クラブ・サークル活動, 経済的事情・アルバイト, 対人関係についてなどである。

3.5.3 学生相談実態調査アンケートの実施及び活用

令和元年12月に助教以上の専任教員に対して、平成31年1月1日から令和元年12月31日までの間に学生から相談のあった内容や各教員の対応について「学生相談実態調査アンケート」を実施し、回収率は52.73%であった。

なお、各教員が個々の相談事例にどのように対処したのかの内容を報告書にまとめ、全教員に配付し学生指導に活用している。

3.6 授業欠席状況調査

欠席状況調査は、授業への受講状況を通して本学学生の学業意欲を調査し、精神面の障害や不健康状態にある者を早期に発見して、面談等により本人へ適切な指導を与えることを目的としている。

3.6.1 授業欠席者数及び主な欠席理由

令和元年度前期欠席者数：33名（詳細は資料3.6.1のとおり）

主な欠席理由：早朝に授業があるため寝坊，精神的な悩み，身体的病気怪我，進路の迷い等

令和元年度後期欠席者数：31名（詳細は資料3.6.1のとおり）

主な欠席理由：早朝に授業があるため寝坊，精神的な悩み，身体的病気怪我，進路の迷い等

3.6.2 実施方法，時期

1) 実施方法

- ・実施時期は、5月（前期）と11月（後期）の年2回を実施基準月とする。
- ・調査対象は、卒業研究に着手（研究室に所属）しない学部全学生とする。
- ・調査科目は、各学部が指定した科目とする。
ただし、1年次は、学部の依頼により大学教育センターが指定した授業科目とする。
- ・調査方法は、調査科目について連続4回の出欠チェックを行う。
- ・集計作業は、各学部担当事務（1年次生は学務部）が行う。
- ・4回のチェックのうち3回以上欠席した者をクラス担任別に集計する。
- ・クラス担任別集計に基づき面接対象一覧と個人ごとの面接票を作成する。
- ・面接票には学籍番号，所属，氏名，住所，電話番号等を記載する。
- ・学部長名（1年次生は学生相談・生活部会長名）で面接対象一覧と面接票を添えて、クラス担任等に対して欠席者の事情聴取を期限内に終了するよう依頼する。

2) クラス担任による欠席者の事情聴取

- ・調査方法は、クラス担任等が対象者を呼び出し、直接面談により欠席理由等を聴取する。
- ・面談により適切な指導を行い、かつ、精神科医の面談の要否を判断し、その内容を面接票に記載して、その都度学部長（1年次生は学務部）に提出する。

3) 医師による欠席者との面談

クラス担任等から学部長（1年次生は学務部）に提出された面接票を健康支援総合センター医師に回付し、医師が指導の必要があると判断した欠席者と面談を行い、必要なカウンセリング等を行う。

3.7 障害学生への支援

障害のある学生がその能力並びに障害の種別及び程度に応じ、十分な教育を受け、学生生活を送ることができるよう、大学教育・学生支援機構学生支援センターに、障害学生支援室を設置している。

3.7.1 支援内容

群馬大学障害学生修学支援実施要項に基づく修学支援の必要な学生には、個別に障害の種別及び程度に応じた支援内容を明記した「配慮願い」を授業担当教員へ通知している。また、全教員に対して「障害学生支援での一般的な配慮事項」を配付して周知を図っている。

聴覚障害学生には、授業ごとに必要に応じて、UDトークやパソコンテイク、手話通訳等の情報保障を行い、肢体不自由学生には、休憩室の設置、車椅子対応の施設整備、低身長者のための踏み台の設置、介助者による移動介助などの支援を行い、内部障害学生には、講義中のトイレ退席等の配慮、また、発達障害学生には、休憩室の設置、学生支援センター専任教員及び健康支援総合センター医師による面談、履修相談などの支援を行っている。

3.8 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課，学校行事，学校施設内外における課外活動，学校施設内，通学，学校施設等相互間の移動時に係る全ての傷害に対して補償を行う保険である。

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課，学校行事，インターンシップ，介護等体験活動，教育実習，ボランティア活動等及びその移動時に，他人にけがを負わせたり，他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険である。

本学では，教育研究の円滑な実施のために，入学の際に当該保険に全員が加入することを勧めている。

3.8.1 加入者数

令和元年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入者数は，資料3.8.1のとおりである。

3.8.2 請求種別保険金請求件数

令和元年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の請求種別保険金請求件数は，資料3.8.2のとおりである。

3.9 通学証明書，旅客運賃割引証

通学証明書は，学生がJR，私鉄，バス等の通学定期券を購入する際に必要となる証明書である。学生旅客運賃割引証は，学生の修学上の経済的負担軽減と学校教育の振興に寄与することを目的としている制度で，片道乗車区間の距離100kmを超える区間を乗車する際に使用することができる。

通学証明書及び学生旅客運賃割引証発行業務については，荒牧地区，昭和地区，桐生地区及び太田地区で証明書自動発行機にて行っている。

3.9.1 発行枚数及び主な発行理由

令和元年度の通学証明書及び学生旅客運賃割引証の発行枚数等は、資料3.9.1のとおりである。

3.10 学生寮

本学には、前橋地区に養心寮，桐生地区に啓真寮の2寮がある。

学生寮は、学生が修学にふさわしい環境において勉学を継続するための住居施設として設けられている。

3.10.1 養心寮入寮者数

令和元年度の養心寮入寮者数（定員は男子74人，女子62人，合計136人，寄宿料月額4,300円）は，延入居者数が1,564人で，入居率は95.8%である。なお，男子部屋数は77室であるが，入居不可室が3室あるため，74室を定員とした。

3.10.2 啓真寮入寮者数

令和元年度の啓真寮入寮者数（定員は男子65人，女子24人，合計89人，寄宿料月額 ワンルーム型25,000円，シェア型15,000円）は，延入居者数が909人で，入居率は85.1%である。

3.11 生活支援施設

本学では、学生生活の利便性を確保し、経済面の支援を図るために荒牧地区、昭和地区及び桐生地区にそれぞれ食堂・売店等を設けており、群馬大学生生活協同組合に委託している。

食堂では食事及び懇親会等を、売店では、書籍、日用品、旅行斡旋等を市価より安く提供している。

3.11.1 食堂

事項・地区	荒牧地区	昭和地区	桐生地区
座席数	447席 (ホール内405席, 外42席)	286席 (ホール内264席, 外22席)	558席 (ホール内438席, 外20席, 桐園100席)
営業時間	11:00～14:00 17:30～19:30	11:00～14:00	11:00～14:00 17:30～19:30 桐園 11:00～14:00
年間営業日数	296日	295日	295日
年間利用者数	124,864人	44,961人	134,892人
提供メニュー数	40以上	20以上	40以上

3.11.2 売店

事項・地区	荒牧地区	昭和地区	桐生地区
営業時間	9:30～18:00	8:30～18:00	9:30～18:00
年間営業日数	293日	295日	295日
年間利用者数	136,580人	104,044人	118,134人

3.12 課外活動施設

本学には、荒牧、昭和、桐生の各キャンパスに各種の課外活動施設があり、体育の授業の他、学生の利用に供している。その主な施設については、次のような施設仕様、使用等状況である。

3.12.1 体育施設

○荒牧キャンパス

陸上競技場

陸上競技場は、400メートルトラックである。陸上競技部が主として使用している。

また、トラック内のインフィールドも、やり投げ等の陸上種目の他、多目的な軽スポーツ実施の場として使用している。

サッカー・ラグビー場

サッカー・ラグビー場は、サッカー又はラグビーの公式試合が可能な面積を持っており、サッカー、ラグビー及びフットサル用のゴールが設置してある。また、夜間照明も設置してあり、サッカー部、ラグビー部、アメリカンフットボール部及びフットサルサークルが主として使用している。

テニスコート

テニスコートは、硬式専用コート3面、軟式専用コート3面（いずれもクレークコート）、全天候型コート2面（オムニコート）、両用コート1面（クレークコート（ゴルフ練習施設併設））の9コートがあり、硬式テニス部やソフトテニス部が主として使用している。

また、オムニコートは夜間照明が設置してあり、人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり、利用率が高い。その反面、人工芝の消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。

野球場

野球場は、天然芝で、夜間照明が設置してある。準硬式野球部、硬式野球部、軟式野球サークル及び医学部準硬式野球部が主として使用している。

プール

プールは、50メートル8コースで、6月から8月まで使用している。水泳部が主として使用している。

第1体育館

第1体育館は、主としてバレーボール、バスケットボールなどに使用し、それぞれ2面使用可能である。バレーボール部、バスケットボール部が主として使用している。

第2体育館

第2体育館は、主としてバドミントン、卓球、体操競技、ダンスなどに使用している。

また、ダンス用の広い面積の鏡や、体操での安全確保用のウレタンを敷き詰めたピットも設けている。バドミントン部、卓球部、体操部、ダンス部が主として使用している。

なお、第1体育館、第2体育館の間にトレーニングルームが併設されている。

武道場

武道場は、剣道用の床面が1面、柔道用の畳面が1面の計2面があり、各種武道で使用する他、畳面にレスリング用マットを敷き詰めてレスリングをすることも可能である。剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部が主として使用している。

弓道場

弓道場は、平成22年度に新営され、公式試合が可能となった。弓道部が主として使用している。

馬場

馬場は、馬術部が使用している。乗馬して練習すると馬場の表面が荒れるため、馬術部学生が馬場の部室に常駐（授業時間及び深夜を除く）し、馬の飼育と馬場の管理を行っている。

なお、飼育している馬は馬術部の所有であり、その餌代は学生が拠出している。

○昭和キャンパス

体育館

体育館は、バレーボール・バスケットボール・バドミントンなどの球技で使用するアリーナと、剣道場・柔道場各1面の武道場があり、武道場の2階は卓球場となっている。

昭和地区では体育の正課授業がないため、学生の課外活動用として、バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、剣道部、柔道部、卓球部が主として使用している。

弓道場

弓道場は敷地面積が狭隘であるため、荒牧地区と比べると射場の幅は狭くなっている。弓道部が主として使用している。

○桐生キャンパス

菱グラウンド（サッカー・ラグビー場、野球場）

サッカー・ラグビー場は、サッカー及びラグビー用のゴールが設置してあり、サッカー部、ラグビー部及びフットサルサークルが主として使用している。野球場は、天然芝で、硬式野球部が主として使用している。

テニスコート

テニスコートは全天候型コート（オムニコート）が3面あり、硬式テニス部、ソフトテニス部が主として使用している。

また、夜間照明が設置してあり、人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり、利用率が高い。その反面、人工芝の消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。

プール

プールは、25メートル7コースで、6月から8月まで使用している。水泳部が主として使用している。

体育館

体育館は、1階には剣道用の床面が1面、柔道用の畳面が1面の計2面があり、各種武道で使用している。剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部、ダンスサークル、八木節同好会が主として使用している。また、トレーニングルームも併設されている。2階は主として球技用のフロアであり、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、バドミン

トン部が主として使用している。

弓道場

弓道場は、弓道部が主として使用している。

3.12.2 文化施設

文化施設等は、次のとおりである（荒牧キャンパスのみ）。

ミュージズホール

ミュージズホールは、大学会館内の多目的ホールで、各種会合、集会等に使用する施設である。

集会室

2室の集会室があり、うち1室は和室である。和室は主として茶道部が使用している。

3.12.3 課外活動共用施設

○荒牧キャンパス

課外活動共用施設は、南北に2棟あり、北棟は主として運動系サークルが、南棟は主として文化系サークルが共同で利用している施設である。北棟は1階、2階ともに8部屋の計16部屋あり、南棟は1階、2階ともに6部屋の計12部屋がある。

北棟1階に運動講義関係の器具庫があり、その他の部屋は部室として使用している。南棟は音楽演奏に向く防音の部屋が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。また、荒牧祭実行委員会もこの課外活動共用施設を中心に活動している。

○昭和キャンパス

課外活動施設は体育館と繋がっており、1階、2階、3階に各6部屋の計18部屋あり、1階には音楽演奏に向く防音の部屋が4室ある。主に文化系クラブ・サークルが利用している。

○桐生キャンパス

課外活動共用施設は、1階に9部屋、2階と3階に各6部屋の計21部屋あり、1階には音楽演奏に向く防音の部屋が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。主に文化系クラブ・サークルの活動場所や運動部の器具庫及び倉庫として利用している。

3.12.4 合宿所

○荒牧キャンパス

4部屋あり、広さは談話室が12畳、1・2号室が計22畳、3号室が14畳、4号室が14畳である。

なお、就寝用具などは学生の持ち込みとなっている。

○桐生キャンパス

4部屋あり、広さは1号室が12畳、2号室が15畳、3・4号室が各6畳である。

関東甲信越大学体育大会などの各種競技大会開催間近には、強化合宿で利用率が非常に高くなる。

なお、各部屋には就寝用具が備えられており、共用の調理場や浴室等も利用できる。

3.13 学生団体及び主な活動

学生団体及び主な活動は、次のとおりである。

3.13.1 学生団体

令和元年度のクラブ・サークルは、資料3.13.1のとおりである。

本学の運動部で対外試合のある種目では、荒牧キャンパスと桐生キャンパスは「4年制大学」の出場枠となり、昭和キャンパスは「6年制大学」の出場枠となるため、同じスポーツ名ではあっても「荒牧・桐生」と「昭和」は別団体、というクラブ・サークルが多い。

3.13.2 大学祭

学生の意識高揚と、広く群馬大学を学外に情報発信することなどを目的とし、大学祭を開催している。

- ・荒牧祭（荒牧キャンパス）は、令和元年11月23日（土）～24日（日）に開催し、来場者数は約4,500人であった。
- ・医学祭（昭和キャンパス）は、令和元年10月26日（土）～27日（日）に開催し、来場者数は約1,200人であった。
- ・群桐祭（桐生キャンパス）は、令和元年10月19日（土）～20日（日）に開催し、来場者数は約1,500人であった。

3.13.3 関東甲信越大学体育大会

関東甲信越大学体育大会は、学生スポーツの健全な発達及び普及を図り、併せて相互の親睦に資するため関東甲信越地区13大学（東京地区大学を除く。）が共同で開催している。

令和元年度は、茨城大学が主管校として、宇都宮大学、筑波大学の3大学が担当して行われた。令和元年8月16日（金）～9月1日（日）の日程で全種目が開催され、各大学が担当した競技は以下のとおりである。

茨城大学担当：陸上競技，テニス，バスケットボール，剣道，卓球

宇都宮大学担当：硬式野球，サッカー，ソフトテニス，水泳，体操，柔道

筑波大学担当：準硬式野球，ラグビー，弓道，バレーボール，バドミントン，空手道

群馬大学が好成績（3位以上）を取めた競技は以下のとおりである。

- ・優勝：体操（女子），空手道（自由）
- ・第2位：準硬式野球
- ・第3位：柔道（男子）

3.13.4 クラブ・サークルリーダーシップ研修会

クラブ・サークルリーダーシップ研修会は、クラブ・サークルの新旧リーダー等を対象に、課外活動団体の健全な活動及び発展に寄与させることを目的として毎年行っており、令和元年度は、2月26日（水）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。なお、予定していた研修内容は以下のとおりである。

（研修内容）

- ・講演①「酒とタバコについて」
 - ②「自殺予防について（ゲートキーパーの養成）」
 - ③「生活安全について」
 - ④「学生サポートについて」
- ・AED講習

3.14 研修施設

研修施設として北軽井沢研修所と草津セミナーハウスがある。その概要等は次のとおりである。

3.14.1 北軽井沢研修所

この研修所は、本学の教員及び学生等がセミナー等で利用することを目的に昭和49年に設置された。所在地は、群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢字南木山榎2032-242（北軽井沢大学村1条8丁目）で、敷地面積2,497㎡、建物面積285㎡のC型鋼ビン接合フレーム型2階建の建物となっている。

収容人員は15人で居室は3、研修室1、炊事施設等が完備されている。開所時期は、5月1日から10月15日までで、施設運営費は、1人1日1,000円、食事は自炊となっている。ただし、本学の教職員及び学生以外は施設運営費の他に施設使用料1人1日40円が必要となる。

令和元年度延利用者数

群馬大学所属者	その他	総数
129人	53人	182人

3.14.2 草津セミナーハウス

この施設は、関東甲信越地区国立大学の共同利用合宿研修施設として、教職員及び学生が起居を共にし、相互に研鑽し人間関係を深め、対話や学習を重ねながら教養を高め、自然に親しみ、豊かな人間性を育成することを目的に昭和59年に設置された。所在地は群馬県吾妻郡草津町大字草津字白根737である。

上信越県境にそびえる草津白根山の中腹に広がる日本有数の温泉地、草津町にあるこの施設は、敷地12,084㎡、建物延2,569㎡で120人を収容することができる。

四季を通して、セミナーや体育館を利用してのクラブ合宿の他、冬のスキー、春の新生合宿、夏の登山及び秋の自然観察など、多彩な利用ができる。

草津セミナーハウス使用料金表（令和元年度）

区 分	(1) 地区国立大学教職員・学生	(2) (1) 以外の者
運 営 費	1,600円 (2,100円)	2,000円 (2,500円)
施設使用料	(2) の者のみが負担（毎年4月1日決定）	
食 事	朝食 480円	昼食 520円 夕食 1,020円

- (1) 地区国立大学とは関東甲信越地区国立大学をいう。
- (2) () 内の金額は10月1日から4月30日までの運営費である。
- (3) 地区国立大学の教職員及び学生以外が利用する場合は、施設運営費の他に施設使用料1人1日100円が必要となる。
- (4) 既納の運営費及び施設使用料は還付しない。ただし、使用日の7日前までの取り消しについては、運営費の70%を還付する。

令和元年度延利用者数

地区大学所属者	地区大学所属者以外	総数
2,426人	2,091人	4,517人

3.15 学生の就職支援

荒牧キャンパスに全学生が利用可能な進路指導室としてキャリアサポート室を設置している。学生自身の適性や志向を見定め、明確な目的意識を持たせ、社会や仕事、働くことの意味や意義を考え学ばせる実践的な就業体験や各種の就職ガイダンス・セミナーを開催し、多様化する就職活動に対する支援を行っている。

3.15.1 進路状況及び主な就職先

令和元年度の学生の進路状況等は、資料3.15.1のとおりである。

3.15.2 全学就職ガイダンス・セミナーの開催

本学で実施した就職ガイダンス等は、次のとおりである。

- 1) 就職ガイダンス

基本講座	全5回	参加延人数	389人
実践講座	全17回	参加延人数	928人
特別講座	全11回	参加延人数	496人
- 2) 公務員講座
(全6回, 参加延人数: 193人)
- 3) 各種試験対策講座
(全7回, 参加延人数: 710人)
- 4) インターンシップ関係説明会及び体験報告会
(全6回, 参加延人数: 1,151人)
- 5) 合同企業説明会・公務員等業務概要説明会・その他各種セミナー等
(全3回, 参加延人数: 203人)

3.15.3 キャリアカウンセリングの充実

学生の就職相談体制の強化として、前橋地区及び桐生地区にキャリアカウンセラーを配置し、対面式によるカウンセリングを実施した。さらに、ハローワークの協力により、個別相談会や集団面接模擬練習を実施した。

- 1) 利用延人数: 633人
- 2) 主な相談・指導内容
 - ・就職活動の進め方・職業適性・自己分析の相談
 - ・エントリーシート, 履歴書の添削
 - ・面接試験の指導助言

3.15.4 キャリアサポート室における情報収集環境の充実

- 1) 学生用に就職情報検索等のためのパソコン・プリンターを設置
- 2) 各種企業情報データを集約して教務システムに公表
- 3) 各種求人・会社説明会・インターシップ・公務員試験案内等の設置と配付
- 4) 先輩の就職活動報告書の公開
- 5) 就職関連書籍・ガイダンス撮影ビデオの貸出
- 6) 就職ガイダンス開催・各種企業説明会, セミナー等の案内やカウンセリングの予約状況等について, ツイッター, Gメールによる情報発信

3.15.5 就職支援の体制強化の充実

- 1) 国公立大学が参加する就職指導担当者研修会や全国就職指導ガイダンスにおいて意見交換を図るとともに企業の人事担当者等による専門的助言や情報の収集により就職支援体制を強化した。
- 2) 体験型インターンシップを推進するため、実習先企業を継続的に確保し、また受入企業の新規開拓を図った。
 - ・事前説明会参加者：571人
 - ・実習事前講座参加者：269人
 - ・実習参加者：591人
 - ・インターンシップ終了後の体験報告会参加者：311人

3.15.6 就職支援BOOKの作成・配付

就職支援BOOK（手帳版）を作成し、各学部の就職対象学生に配付した。

3.16 就業力育成支援

大学教育センター、理工学部、社会情報学部と連携し、以下のような就業力育成の取組を実施している。

- 1) 学生の就業力育成のため、就業力育成支援室を設置し、キャリアサポート室と連携しながら、社会人としての就業観育成から将来の就業までを意識したキャリア教育をおこなっている。
- 2) 就業力育成のための科目として、初年次教育で「キャリア計画（2単位）（必須科目）」、「キャリア設計（2単位）」（理工学部1年生対象）及び「学びを構築する（2単位）」（社会情報学部1年生対象）を実施している。これらの授業では、学外の有識者や学内研究者等の講演会も実施している。
- 3) 企業での就業体験型インターンシップの事前教育として、理工学部2年生を対象に座学と企業見学を主内容とした「インターンシップI（1単位）」を、キャリアと社会の諸相について理工学部3年生を対象に「キャリア展開（2単位）」を開講している。
- 4) 学びの履歴・アンケート等は、電子的に記録し、自身の学びを振り返ることのできるキャリアデザインポートフォリオシステムを利用している。
- 5) これらの就業力育成関連の科目やインターンシップを統合化し、学士課程を通じて、学年進行に応じたキャリア教育を展開している。

3.17 学生生活実態調査

学生の生活実態や要望等を把握し、有効な学生支援の方策を検討するために、5年毎に実施することとした学生生活実態調査を、平成15年度、平成20年度、平成25年度及び平成30年度に実施した。

また、内容を報告書にまとめ、講師以上の教員及び関係事務職員に配付し、学生支援への活用を図っている。

3.18 キャンパスニュース群の発行

「キャンパスニュース群」は、主に各キャンパスの学生活動情報をウェブサイトに掲載し発信している。

主な掲載内容は、各地区学園祭及びフットサル大会レポート、クラブ・サークル活動紹介等である。

3.19 事件・事故

本学学生が関係した事件・事故の件数は、次のとおりである。

- ・交通事故：19件（学内6件，学外13件）
- ・盗難：5件
- ・その他犯罪被害等：8件

3.20 学生支援センター資料集

資3.1.1, 3.1.2：令和元年度入学料免除及び入学料徴収猶予実施状況

資3.2.1, 3.2.2：令和元年度授業料免除及び授業料徴収猶予実施状況

資料3.4.1：日本学生支援機構奨学生数（令和元年10月1日現在）

資料3.6.1：令和元年度学部1～3年次生欠席状況調査一覧（前期，後期）

資料3.8.1：令和元年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

資料3.8.2：令和元年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

資料3.9.1：令和元年度通学証明書発行枚数，学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

資料3.13.1：令和元年度クラブ・サークル一覧

資料3.15.1：令和元年度学部卒業生の進路状況及び主な就職先

令和元年度入学科免除実施状況

	免除申請者数 (人)		免除許可者数 (人)	
	4月入学 10月入学	合計	判定 全額免除 半額免除	4月入学 10月入学 合計
教育学部	0	0	全額免除 半額免除	0 0 0
社会情報学部	0	0	全額免除 半額免除	0 0 0
医学部	0	0	全額免除 半額免除	0 0 0
保健学科	0	0	全額免除 半額免除	0 0 0
理工学部(工学部) 総合理工学科(夜間主)除く	0	0	全額免除 半額免除	0 0 0
学部の計	0	0	全額免除 半額免除	0 0 0
総合理工学科(夜間主)	0	0	全額免除 半額免除	0 0 0
教育学研究科 (修士課程)	5	5	全額免除 半額免除	5 0 5
教育学研究科 (専門職学位課程)	0	0	全額免除 半額免除	0 0 0
社会情報学研究科	1	1	全額免除 半額免除	1 0 1
医学系研究科 (生命医科学専攻)	0	0	全額免除 半額免除	0 0 0
保健学研究科 (博士前期課程)	6	6	全額免除 半額免除	4 0 4
理工学府(工学研究科) (博士前期課程)	72	74	全額免除 半額免除	64 2 66
大学院修士課程の計	84	86	全額免除 半額免除	74 2 76
医学系研究科 (医科学専攻)	8	10	全額免除 半額免除	8 2 10
保健学研究科 (博士後期課程)	1	1	全額免除 半額免除	1 0 1
理工学府(工学研究科) (博士後期課程)	6	9	全額免除 半額免除	5 3 8
大学院博士課程の計	15	20	全額免除 半額免除	14 5 19
特別支援教育特別専攻科	1	1	全額免除 半額免除	1 0 1
合計	100	107	全額免除 半額免除	89 7 96

令和元年度入学科徴収猶予実施状況

	猶予申請者数 (人)		猶予許可者数 (人)	
	4月入学 10月入学	合計	判定 全額猶予 半額猶予	4月入学 10月入学 合計
教育学部	4	4	全額猶予 半額猶予	2 2 4
社会情報学部	3	3	全額猶予 半額猶予	2 0 2
医学部	1	1	全額猶予 半額猶予	1 0 1
保健学科	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
理工学部(工学部) 総合理工学科(夜間主)除く	8	8	全額猶予 半額猶予	7 0 7
学部の計	16	16	全額猶予 半額猶予	12 3 15
総合理工学科(夜間主)	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
教育学研究科 (修士課程)	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
教育学研究科 (専門職学位課程)	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
社会情報学研究科	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
医学系研究科 (生命医科学専攻)	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
保健学研究科 (博士前期課程)	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
理工学府(工学研究科) (博士前期課程)	1	1	全額猶予 半額猶予	1 0 1
大学院修士課程の計	1	1	全額猶予 半額猶予	1 0 1
医学系研究科 (医科学専攻)	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
保健学研究科 (博士後期課程)	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
理工学府(工学研究科) (博士後期課程)	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
大学院博士課程の計	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
特別支援教育特別専攻科	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0 0
合計	17	17	全額猶予 半額猶予	12 4 16

令和元年度授業料免除実施状況

	免除申請者数 (人)			免除許可者数 (人)			
	前期	後期	合計(延べ人数)	判定 全額免除 半額免除	前期	後期	合計(延べ人数)
教育学部	83	79	162	全額免除 半額免除	48 25	51 20	99 45
社会情報学部	56	50	106	全額免除 半額免除	34 16	28 18	62 34
医学部	33	36	69	全額免除 半額免除	14 12	19 13	33 25
保健学科	76	84	160	全額免除 半額免除	45 27	54 20	99 47
理工学部(工学部)	227	226	453	全額免除 半額免除	130 69	139 59	269 128
総合理工学部(夜間主)除く 学部の計	475	475	950	全額免除 半額免除	271 149	291 130	562 279
総合理工学部(夜間主)	9	6	15	全額免除 半額免除	8 0	4 0	12 0
教育学研究科 (修士課程)	12	10	22	全額免除 半額免除	5 6	7 2	12 8
教育学研究科 (専門職学位課程)	0	1	1	全額免除 半額免除	0 0	0 1	0 1
社会情報学研究科	12	8	20	全額免除 半額免除	12 0	7 1	19 1
医学系研究科 (生命医科学専攻)	5	4	9	全額免除 半額免除	3 1	3 1	6 2
保健学研究科 (博士前期課程)	24	20	44	全額免除 半額免除	8 9	6 11	14 20
理工学府(工学研究科) (博士前期課程)	141	139	280	全額免除 半額免除	77 56	85 40	162 96
大学院修士課程の計	194	182	376	全額免除 半額免除	105 72	108 56	213 128
医学系研究科 (医科学専攻)	40	36	76	全額免除 半額免除	32 7	30 4	62 11
保健学研究科 (博士後期課程)	9	9	18	全額免除 半額免除	1 8	1 7	2 15
理工学府(工学研究科) (博士後期課程)	28	29	57	全額免除 半額免除	18 10	25 4	43 14
大学院博士課程の計	77	74	151	全額免除 半額免除	51 25	56 15	107 40
特別支援教育特別専攻科	1	0	1	全額免除 半額免除	1 0	0 0	1 0
合計	756	737	1493	全額免除 半額免除	436 246	459 201	895 447

令和元年度授業料徴収猶予実施状況

	猶予申請者数 (人)			猶予許可者数 (人)			
	前期	後期	合計(延べ人数)	判定 全額猶予 半額猶予	前期	後期	合計(延べ人数)
教育学部	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
社会情報学部	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
医学部	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
保健学科	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
理工学部(工学部)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
総合理工学部(夜間主)除く 学部の計	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
総合理工学部(夜間主)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
教育学研究科 (修士課程)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
教育学研究科 (専門職学位課程)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
社会情報学研究科	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
医学系研究科 (生命医科学専攻)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
保健学研究科 (博士前期課程)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
理工学府(工学研究科) (博士前期課程)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
大学院修士課程の計	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
医学系研究科 (医科学専攻)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
保健学研究科 (博士後期課程)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
理工学府(工学研究科) (博士後期課程)	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
大学院博士課程の計	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
特別支援教育特別専攻科	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0
合計	0	0	0	全額猶予 半額猶予	0 0	0 0	0 0

資料 3.4.1

日本学生支援機構奨学生数（令和元年10月1日現在）

令和元年10月1日現在(人)

学部・研究科	区分	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		計			
		一種	二種	給付	一種	二種	給付	一種	二種	給付	一種	二種	給付	一種	二種	給付	
		48	24	10	45	31	5	54	35	43	36				190	126	15
学部	社会学部	26	9	0	23	12	6	28	37	16				112	65	6	183
	医学部	6	6	1	16	14	1	12	18	13	11	21	8	71	82	2	155
	保健学科	37	40	6	45	37	5	41	48	27				171	128	11	310
	工学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院	工学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理学部	99	79	13	120	84	15	107	121	86				447	347	28	822
専攻科	特別支援教育特別専攻科	216	158	30	249	178	32	240	267	178	11	21	8	991	748	62	1801
	修士課程	0	0	0			0									0	0
大学院	教育学研究科	5	2	0	4	0	0							9	2	0	11
	社会情報学研究科	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0
	医学系研究科	0	1	0	1	0	0							1	1	0	2
	保健学研究科	2	0	0	1	0	0							3	0	0	3
	工学研究科	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	理学研究科	2	0	0	7	0	0							9	0	0	9
	工学研究科	1	0	0	0	0	0	0	0					1	0	0	1
	工学研究科	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0
	工学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0
	工学研究科	102	7	0	99	9	0							201	16	0	217
	工学研究科	1	0	0	7	1	0	4	0					12	1	0	13
	大学院計	113	10	0	121	10	5	0	0	0	0	0	0	239	20	0	259
総計															2060		

※一人の学生が第一種と第二種と給付を併用している場合もあるため、延べ人数である。

資料 3.6.1

令和元年度学部1～3年次生欠席状況調査一覽(前期)

	教育学部		社会情報学部		医学部			理工学部			合計
	名		名		医学科	保健学科	計	星	夜	計	
1年生 対象者数	234	102	108	165	273	554	0	554	0	554	1,163
欠席者数	2	0	0	0	0	6	0	6	0	6	8
	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	0.7%
2年生 対象者数	237	102	143	160	303	540	0	540	0	540	1,182
欠席者数	0	3	1	0	1	15	0	15	0	15	19
	0.0%	2.9%	0.7%	0.0%	0.3%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	2.8%	1.6%
3年生 対象者数	228	129	140	168	308	597	0	597	0	597	1,262
欠席者数	0	0	0	0	0	6	0	6	0	6	6
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.5%
合計 対象者数	699	333	391	493	884	1,691	0	1,691	0	1,691	3,607
欠席者数	2	3	1	0	1	27	0	27	0	27	33
	0.3%	0.9%	0.3%	0.0%	0.1%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	0.9%

※ 学生数は、令和元年5月1日現在
 ※ 欠席者数下段は、欠席率

令和元年度学部1～3年次生欠席状況調査一覽(後期)

	教育学部		社会情報学部		医学部			理工学部			合計
	名		名		医学科	保健学科	計	星	夜	計	
1年生 対象者数	234	102	108	165	273	552	0	552	0	552	1,161
欠席者数	1	1	1	1	2	5	0	5	0	5	9
	0.4%	1.0%	0.9%	0.6%	0.7%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%	0.9%	0.8%
2年生 対象者数	237	100	143	159	302	536	0	536	0	536	1,175
欠席者数	0	1	0	0	0	7	0	7	0	7	8
	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	0.7%
3年生 対象者数	228	128	140	168	308	594	0	594	0	594	1,258
欠席者数	1	2	1	0	1	10	0	10	0	10	14
	0.4%	1.6%	0.7%	0.0%	0.3%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%	1.7%	1.1%
合計 対象者数	699	330	391	492	883	1,682	0	1,682	0	1,682	3,594
欠席者数	2	4	2	1	3	22	0	22	0	22	31
	0.3%	1.2%	0.5%	0.2%	0.3%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	0.9%

※ 学生数は、令和元年11月1日現在
 ※ 欠席者数下段は、欠席率

資料 3.8.1

令和元年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

学部(人) (令和2年3月31日現在)

学部名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他(研究生等)	計
教育学部		197	229	230	0	0		656
社会情報学部		78	109	99	0	0		286
医学部		101	114	140	143	121		619
保健学科		143	166	171	0	0		480
計	0	244	280	311	143	121	0	1,099
理工学部		433	513	532	599	0		2,077
夜間主コース		30	32	32	34	0		128
計	0	463	545	564	633	0	0	2,205
合計	0	982	1,163	1,204	776	121	0	4,246

大学院・専攻科(人) (令和2年3月31日現在)

研究科名	1年	2年	3年	4年	その他(研究生等)	計
教育学研究科		27	0	0	3	30
社会情報学研究科		2	0	0	1	3
医学研究科		6	0	0	2	8
修士課程		21	57	62	3	143
博士課程		15	0	0	1	16
博士前期課程		4	12	0	0	16
博士後期課程		46	69	62	6	183
計	0	242	0	0	48	290
理工学府		4	20	0	7	31
工学研究科		0	246	20	0	321
計		0	0	0	0	0
特別支援教育特別専攻科		321	89	62	65	537
合計	0	321	89	62	65	537

資料 3.8.2

令和元年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

(件)

	学生教育研究災害傷害保険						学研災付帯 賠償責任保険	総計
	正課中	学校行事中	通学中	課外活動中	その他	合計		
荒牧地区	3	6	2	4	1	16	0	16
昭和地区	1	0	0	5	0	6	1	7
桐生地区	8	0	3	2	0	13	3	16
太田地区	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	6	5	11	1	35	4	39

資料 3.9.1

令和元年度通学証明書発行枚数

(枚)

荒牧地区		昭和地区		桐生地区		太田地区		合計
電車	バス	電車	バス	電車	バス	電車	バス	
523	380	74	17	153	28	9	2	1,186

令和元年度学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

(枚)

	正課	帰省	就職	課外活動	見学	旅行	その他 傷病・治療	計
荒牧地区	236	1,893	1,243	524	772	503	5	5,176
昭和地区	466	5,197	795	1,036	1,203	461	65	9,223
桐生地区	507	4,018	1,955	565	577	285	17	7,924
太田地区	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,209	11,108	3,993	2,125	2,552	1,249	87	22,323

令和元年度クラブ・サークル一覧

整理 番号	クラブ・サークル名	主な活動(所属)地域				区分
		荒牧	昭和	桐生	太田	
1	荒牧クラブ・サークル協議会	○				
2	荒牧祭実行委員会	○				
3	生協学生委員会	○	○	○		
4	文化部会(昭和地区)		○			
5	運動部会(昭和地区)		○			
6	荒牧ジャズ研究会	○				文化部
7	アドバンス[Advance]ボランティア子供向けイベント	○				文化部
8	E. S. S(English Speaking Society)	○				文化部
9	囲碁・将棋部	○				文化部
10	泉の会(知的障害の子供と遊ぶ会)	○				文化部
11	ELMO(遊びのプログラム)		○			文化部
12	映画研究会	○	○			文化部
13	SRC(献血)	○	○	○		文化部
14	E∞gg[えっぐ]医療や社会について学ぶ		○			文化部
15	エレクトーン部		○			文化部
16	演劇部テアトル・ヒューメ	○				文化部
17	音楽研究会			○		文化部
18	カル旅研究会(かるた)	○				文化部
19	かるた会	○		○		文化部
20	合唱サークル Pico		○			文化部
21	学生団体ink	○		○		文化部
22	きょうだいの会ぱずる	○				文化部
23	気象天文研究部	○		○		文化部
24	競技麻雀部	○		○		文化部
25	医学部競技麻雀部		○			文化部
26	教育学部八木節研究会	○				文化部
27	群馬おきりこみ合唱団	○				文化部
28	群馬大学BBS会(ボランティア・少年少女の悩み)	○	○	○		文化部
29	群馬大学AI, IOT研究会	○				文化部
30	群馬大学外科手技サークル		○			文化部
31	教育サークル・青竹(ボランティア・児童教育研究)	○				文化部
32	Guit's(アコースティックギター)		○			文化部
33	クラシックギター部	○		○		文化部
34	グリークラブ	○		○		文化部
35	折紙研究会"Origin"	○	○	○		文化部
36	医学部軽音楽部		○			文化部
37	国際医療ボランティアの会(FORS)		○			文化部
38	Beyond(ボランティア留学生と交流)	○				文化部
39	混声合唱団	○		○		文化部
40	茶道部	○				文化部
41	写真部(荒牧)	○				文化部
42	写真部(昭和)		○			文化部
43	写真部(桐生)			○		文化部
44	手話サークル でんでんむし	○				文化部
45	医学部手話サークル でんでんむし		○			文化部
46	書道部	○				文化部
47	進化するサルのだれでもわかる科学教室	○				文化部
48	0から始めるゲーム制作会	○				文化部
49	聖書研究会			○		文化部
50	GA研究会(アニメ・ゲーム研究会)	○				文化部
51	GMA(中学生のネット見守り活動サークル)	○				文化部
52	G. K. オールスターズ	○		○		文化部
53	吹奏楽団	○	○	○		文化部
54	たんぽぽ(自閉症児ふれあい支援)	○				文化部
55	地域活性化団体 enerGy	○				文化部

令和元年度クラブ・サークル一覧

56	哲学の森		○			文化部
57	天文部		○			文化部
58	電子計算機研究会 IGGG			○		文化部
59	TRPG研究会(テーブルゲーム研究会)	○		△		文化部
60	東洋医学研究会		○			文化部
61	読書同好会			○		文化部
62	AAA☆KIDS(トリプルエーキッズ)ボランティア小児喘息		○			文化部
63	ド学連(MD-PhD勉強会)		○			文化部
64	ボードゲーム倶楽部	○	○	○		文化部
65	Pastel Plan	○				文化部
66	美術愛好会		○			文化部
67	ビリヤード部		○			文化部
68	ピアノ部		○			文化部
69	PCDC(多文化交流)	○		○	○	文化部
70	ファンタスティック手芸部	○				文化部
71	フィルハーモニックオーケストラ部	○		○		文化部
72	フォーク・ロック愛好会	○		○		文化部
73	Fore-Bridge Orchestra(ビッグバンドジャズ)		○			文化部
74	FLOW Orchestra	○	○			文化部
75	Voice Cream(アカペラサークル)	○	○	○		文化部
76	漫画研究部	○		○		文化部
77	マンドリン・ソサエティ		○			文化部
78	前橋文学会		○			文化部
79	民間伝承研究会	○				文化部
80	メサイア管弦楽団・合唱団	○				文化部
81	モダンジャズ研究会(医学部)		○			文化部
82	モダンジャズ研究会(理工学部)			○		文化部
83	野外教育研究会	○	○	○		文化部
84	八木節同好会			○		文化部
85	野草を食べる会		○			文化部
86	夢のわたらせなないろ号	○	○			文化部
87	落語・コント研究会	○		○		文化部
88	ラジオ同好会			○		文化部
89	レストアサークル(機械分解修理)	○		○		文化部
90	LAMP(イベント企画団体)	○				文化部
91	ロボット研究会	△		○		文化部
92	LEADS(小児糖尿病)		○			文化部
93	YMCAクラブ(子供たちと交流)	○	○	○		文化部
94	情報メカトロニクス研究部			○		文化部
95	映画部(MEMENTO)	○	○			文化部
96	群馬大学BBS会	○	○	○		文化部
97	R. F. C(スノーボード)	○		○		運動部
98	合気道部	○	○	○		運動部
99	アルティメット部	○				運動部
100	アメリカンフットボール部	○		○		運動部
101	医学部サイクリング部 医輪(いちやり)		○			運動部
102	医学部★ダンスサークル		○			運動部
103	Et's(バスケットボール)		○			運動部
104	エスケープ(硬式テニス)	○				運動部
105	学生フォーミュラチーム	○		○	○	運動部
106	空手道部	○		○		運動部
107	環境プロセススポーツ同好会			○		運動部
108	弓道部(全学)	○		○		運動部
109	弓道部(医学科)		○			運動部
110	弓道部(保健学科)		○			運動部
111	CRAFT(フットサル)	○				運動部
112	群馬の希望(サッカー・フットサル)	○				運動部
113	剣道部(全学)	○	○	○		運動部
114	剣道部(医学部)		○			運動部

令和元年度クラブ・サークル一覧

115	Get's(サッカー)	○	○			運動部
116	硬式テニス部(全学)	○		○		運動部
117	硬式テニス部(医学部)女		○			運動部
118	硬式テニス部(医学部)男		○			運動部
119	硬式野球部	○		○		運動部
120	古武術部	○				運動部
121	ゴルフ部(医学部)		○			運動部
122	サイクリング部	○		○		運動部
123	サッカー部(全学)	○				運動部
124	サッカー部(医学部)		○			運動部
125	サバイバルゲーム部			○		運動部
126	少林寺拳法部	○		○		運動部
127	自動車部	○		○	○	運動部
128	柔道部(荒牧)	○	○	○		運動部
129	柔道部(理工学)			○		運動部
130	柔道部(医学)		○			運動部
131	準硬式野球部	○				運動部
132	準硬式野球部(医学部)	○	○			運動部
133	水泳部	○	○	○		運動部
134	スキー部(全学)	○	○	○	○	運動部
135	スキー部(医学部)		○			運動部
136	Seven Stars(フットサル)	○				運動部
137	Roughソフトテニスサークル	○		○		運動部
138	ソフトテニス部(全学)	○		○		運動部
139	ソフトテニス部(医学部)		○			運動部
140	体操部	○		○		運動部
141	卓球部(全学)	○		○		運動部
142	卓球部(医学部)		○			運動部
143	ダンス部	○				運動部
144	ツバサFCコーチングスタッフ	○				運動部
145	軟式野球サークル アウィル	○	○	○		運動部
146	ハンドボール部	○				運動部
147	馬術部	○	○	○		運動部
148	バスケットボール研究会	○				運動部
149	バスケットボール部(全学)	○				運動部
150	バスケットボール部(医学部)		○			運動部
151	バスケットボール部(理工学部)			○		運動部
152	女子バスケットボール部(医学部)		○			運動部
153	バドミントン部(全学)	○		○		運動部
154	バドミントン部(医学部)男子		○			運動部
155	バドミントン部(医学部)女子		○			運動部
156	バレーボール部(全学)男子女子	○	○			運動部
157	バレーボール部(医学部)		○			運動部
158	バレーボール部(保健学科)		○			運動部
159	B-STYLE(ダンス)	○		○		運動部
160	Vit'z(ダブルタッチ)		○			運動部
161	ファーストブレイク(バスケットボールサークル)	○				運動部
162	フリースタイル・フットボールサークル	○		○		運動部
163	V. B. C. 桐生(バレーボール)			○		運動部
164	フィールドホッケー部	○				運動部
165	フットサル部	○		○		運動部
166	フットサルサークル		○			運動部
167	ボウリングサークル El Bolos		○			運動部
168	borderless(卓球サークル)	○				運動部
169	メモリアルテニス部	○				運動部
170	ラグビー部(全学)	○		○		運動部
171	ラグビー部(医学部)	○	○			運動部
172	陸上競技部(全学)	○		○		運動部
173	陸上競技部(医学部)		○			運動部

令和元年度クラブ・サークル一覧

174	Let's Met's		○			運動部
175	ONE WAY(バレーボール)	○				運動部
176	RUSH(フットサル)	○				運動部
177	ワンダーフォーゲル部	○	○	○		運動部
178	Gunma University Motorcycle Club (旧バイク部)			○		運動部
179	野外活動サークル	○				運動部
180	アチェリーサークル	○	○	○		運動部
181	オリエンテーリング部	○		△		運動部

資料 3.15.1

令和元年度学部卒業生の進路状況

区分 学部	卒業生数 (A)		進学者数				就職者数										就職活動中	その他 (D)	就職率 (E) $E=C/(A+B+D) \times 100$	
	大学院・専攻科	他大学学部等	研究生等	各種専修学校等	留学	業種別内訳					計 (C)									
						教員														
						小	中	高	特別支援	中等		医療機関	企業等	公務員等	自営業	業種不明				
教育学部	14		1	1		16	3	83	43	11	11	1		26	23		201		9	100.0
社会情報学部		2				2								82	26	1	109	1	7	99.1
医学部													113				113		5	100.0
保健学科	16				1	17							125	7	10		142		4	100.0
理工学部・工学部	346	1	1	2		350								175	19	1	197	2	9	99.0
計	1184	376	3	2	3	1	385	3	83	43	13	11	1	238	290	78	762	3	34	99.6

備考:その他(D)欄は、各種試験準備、留学生の帰国、家事従事、不明等である。

令和元年度学部卒業生の主な就職先

青字は本社が群馬県内に所在

【教育学部】

■教育

〈幼稚園・認定こども園〉

清心幼稚園(認定こども園) 中川幼稚園(認定こども園) 市川市

〈小学校〉

前橋市 高崎市 桐生市 伊勢崎市 太田市 館林市 沼田市 渋川市 藤岡市 富岡市 安中市 みどり市 みなかみ町 吉岡町 玉村町 東吾妻町 片品町 邑楽町 榛東村 川場村 嬬恋村の各教育委員会 群馬大学教育学部附属小学校 フェリーチエ学園 宇都宮市 足利市 熊谷市 行田市 柏崎市の各教育委員会

〈中学校・中等教育学校〉

前橋市 高崎市 伊勢崎市 太田市 館林市 沼田市 渋川市 藤岡市 みどり市 みなかみ町 吉岡町 昭和村 榛東村の各教育委員会 群馬大学教育学部附属中学校 南相馬市 さいたま市 熊谷市 深谷市 桶川市 高岡市 岐阜市の各教育委員会

〈特別支援学校〉

群馬県教育委員会 新潟県 山梨県 栃木県の各教育委員会

〈高等学校〉

群馬県教育委員会 北海道 福島県 埼玉県の各教育委員会 日々輝学園高等学校 三浦学苑高等学校

■公務

群馬県(学校事務)
伊勢崎市
防衛省・陸上自衛隊
足利市
かほく市

前橋市
渋川市
長野県(学校事務)
深谷市

高崎市
宇都宮市
佐久市

■企業・法人等

(株)加藤商店
群馬大学
(株)滋野堤水堂
(株)ヤマダ電機
アデコ(株)
カネボウビューティーカウンセリング(株)
日本情報産業(株)
(株)リアライブ

(株)栗原医療器械店
群馬ダイヤモンドペガサス
(株)高崎共同計算センター

(株)大宮電化
コンピュータロン(株)
東日本旅客鉄道(株)
(株)リオ・ホールディング

(株)群馬銀行
群馬日産自動車(株)
トヨタカローラ群馬(株)

海外子女教育振興財団
四国旅客鉄道(株)
(株)マーキュリー

【社会情報学部】

■公務

群馬県
前橋市
太田市
甘楽町
足利市
国土交通省
廿日市市

群馬県(警察事務)
高崎市
館林市

宇都宮市
桜川市
福島県

群馬県警察
桐生市
安中市

神川町
大仙市
北海道

■企業・法人等

朝日印刷工業(株)
(株)岡本工作機械製作所
(株)群馬銀行
(株)群馬農協電算センター
全国農業協同組合連合会群馬県本部
(株)ホテル松本楼
竜舞プラスチック(株)
会津オリンパス(株)
(株)アスネット
(株)インターワークス
(株)NTTデータNJK
太田総合病院
コンピュータロン(株)
(株)システックス
セイコーエプソン(株)
第一生命保険(株)
ディップ(株)
東京海上日動火災保険(株)
トッパン・フォームズ・オペレーション(株)
(株)日本ネットワークサービス
(株)ネクストワン
(株)パスカル
(株)ヒューマンキャピタル
(株)プロトコーポレーション
(株)メガネフラワー
山形県農業共済組合

邑楽館林農業協同組合
小倉クラッチ(株)
群馬県信用保証協会
(株)ジー・エス・ディー
(株)高崎共同計算センター
前橋市農業協同組合
(株)両毛システムズ
(株)アウトソーシングデザイナー
(株)アネックスライフ
エイム(株)
(株)NTTデータ・イントラマート
(株)柏屋
(株)GIJ
(株)柴田屋酒店
(株)セイファート
太陽誘電(株)
デジタルデータソリューション(株)
東京ガスファーストエナジー(株)
(株)日本キャスト
日本郵政(株)
(株)ハートソフト
パワーフューチャー(株)
フットセラピー(株)
(株)フロンティアインターナショナル
(株)メッセ
リコージャパン(株)

岡部工業(株)
桐生信用金庫
群馬大学
システム・アルファ(株)
(株)フレックス
リード(株)

(株)あさひ
(株)アルカディアソフト開発
(株)NHC
エン・ジャパン(株)
(株)ゲストリスト
(株)ジーネクスト
ジャパンプリント(株)
ソリマチ(株)
(株)ティー・アイ・シー
天龍製鋸(株)
東電用地(株)
日本コープ共済生活協同組合連合会
(株)ネクスタム
(株)ハイエレコン
(株)東日本技術研究所
(株)プログデンス
(株)マーキュリー
(株)モスキート

【医学部 医学科】

※病院名は通称で表記

■医療・福祉業

伊勢崎市民病院	太田記念病院	桐生厚生総合病院
群馬大学医学部附属病院	群馬中央病院	公立館林厚生病院
公立富岡総合病院	公立藤岡総合病院	済生会前橋病院
洪川医療センター	高崎総合医療センター	利根中央病院
日高病院	前橋赤十字病院	
板橋中央総合病院	いわき市医療センター	荻窪病院
川崎幸病院	菊名記念病院	京都大学医学部附属病院
公立阿伎留医療センター	済生会栗橋病院	済生会習志野病院
済生会二日市病院	埼玉協同病院	さいたま市立病院
さいたま赤十字病院	埼玉病院	自治医科大学附属さいたま医療センター
自治医科大学附属病院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	順天堂大学医学部附属練馬病院
湘南藤沢徳洲会病院	仙台オープン病院	立川病院
多摩北部医療センター	千葉大学医学部附属病院	東京医科歯科大学医学部附属病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院	東京女子医科大学病院	東京大学医学部附属病院
東京通信病院	東京都立大塚病院	東京都立多摩総合医療センター
東京都立駒込病院	獨協医科大学埼玉医療センター	獨協医科大学病院
虎の門病院	長岡中央総合病院	中津川市民病院
奈良県総合医療センター	新潟県立新発田病院	日野市立病院
深谷赤十字病院	松戸市立総合医療センター	水戸済生会総合病院
名鉄病院	大和市立病院	山梨県立中央病院
山梨大学医学部附属病院	横浜市立大学附属病院	横浜市立市民病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜栄共済病院	

【医学部 保健学科】

※病院名は通称で表記

■公務

前橋市	桐生市	太田市
大泉町	川場村	
埼玉県	厚木市	新潟市

■医療・福祉業

石井病院	伊勢崎市民病院	太田記念病院
上牧温泉病院	岸病院	群馬大学医学部附属病院
公立藤岡総合病院	洪川中央病院	セキールレディースクリニック
第一病院	角田病院	利根中央病院
沼田脳神経外科循環器科病院	榛名荘病院	榛名病院
東前橋整形外科病院	日高病院	前橋協立病院
前橋赤十字病院	むらざえ整形外科クリニック	老年病研究所附属病院
愛仁会	上尾中央総合病院	NTT東日本関東病院
大森赤十字病院	岡田眼科	下越病院
春日部市立医療センター	霞ヶ関南病院	上都賀総合病院
刈谷豊田総合病院	北里大学メディカルセンター	杏林大学医学部附属病院
久喜すずのき病院	慶應義塾大学病院	国立がん研究センター東病院
国立国際医療研究センター	五反田リハビリテーション病院	済生会宇都宮病院
埼玉県立病院	佐久医療センター	佐野厚生総合病院
自治医科大学附属さいたま医療センター	自治医科大学附属病院	嶋田病院
順天堂大学医学部附属練馬病院	聖稜リハビリテーション病院	聖路加国際病院
総合療育センターひまわり学園	千葉西総合病院	TMGあさか医療センター
東京医科歯科大学附属病院	東京医科大学病院	東京女子医科大学病院
東京大学医学部附属病院	東京通信病院	長野松代総合病院
那須赤十字病院	日本医科大学千葉北総病院	日本医科大学附属病院
八戸市立市民病院	平鹿総合病院	深谷赤十字病院
八千代病院	横浜市立大学附属市民総合医療センター	

■企業・法人等

群馬県社会福祉事業団	(有)さかいゼミ	(株)サカエ
(株)アイロムグループ	(株)EP総合	(株)ビー・エム・エル
(株)ピーシーエルジャパン		

【理工学部 化学・生物化学科】

■教育

〈高等学校〉
常磐高等学校 水戸葵陵高等学校

■公務

群馬県東部水道企業団
伊奈町

■企業・法人等

赤城水産(株)	オリヒロ(株)	(株)スイシン
東邦工業(株)	ニプロ医工(株)	(株)原田
藤田エンジニアリング(株)	(株)ベイシア	三益半導体工業(株)
(株)みまつ食品	モーリン化学工業(株)	群馬大学理工学部技術補佐員
(株)アープ	(株)アウトソーシングテクノロジー	(株)アドバンストラフィックスシステムズ
(株)あたらす二十一	(株)アマダホールディングス	(株)板通
(株)ウエルテック	(株)ウイン・インターナショナル	エア・ウォーター・ゾル(株)
(株)OCEAN'S	(株)片岡製作所	(株)キッズコーポレーション
(株)倉本産業	コルコート(株)	ジェイオーコスメティックス(株)
自治医科大学	信越ポリマー(株)	大日精化工業(株)
大宝化学工業(株)	太陽誘電(株)	タマホーム(株)
(株)タムラ製作所	(株)チュチュアンナ	(株)デイリースポーツ案内広告社
東海カーボン(株)	東京ガス(株)	東京化成工業(株)
東洋エアゾール工業(株)	(株)ナイスクラブ	ニッセイ情報テクノロジー(株)
日本電技(株)	(株)ノーケン	白十字(株)
(株)八十二銀行	(株)フォルミカディオ	富士食品工業(株)
ブリヂストンフローテック(株)	平成理研(株)	前田道路(株)
ヤマウチ(株)	吉澤精機(株)	(株)リジョイスカンパニー

【理工学部 機械知能システム理工学科】

■公務

防衛装備庁

■企業・法人等

(株)岡本工作機械製作所	サンデン・オートモティブクライメントシステム(株)	サンデンホールディングス(株)
(株)千代田製作所	(株)トヨタプロダクト	(株)山田製作所
(株)ユー・コーポレーション	理研鑄造(株)	(株)両毛システムズ
DCX Technology	ローム・ワコー(株) ELECTRONICS(マレーシア)	(株)HGSTジャパン
ANAベースメンテナンステクニクス(株)	(株)沖データ	カルソニックカンセイ(株)
カワダロボティクス(株)	(株)木村鑄造所	(株)河野製作所
ジヤトコ(株)	須賀工業(株)	(株)SUBARU
立山科学グループ マレーシアアブランチ	DXC Technology	(株)日産オートモティブテクノロジー
日本航空(株)	日立オートモティブシステムズ(株)	フクダ電子(株)
ボッシュ(株)	(株)三井E&S鉄構エンジニアリング	メタウォーター(株)
ユニプレス(株)	レシップホールディングス(株)	

【理工学部 環境創生理工学科】

■公務

群馬県	前橋市	高崎市
宮城県	埼玉県	東京都
静岡県	富山県	横浜市
新潟県	長野市	

■企業・法人等

小倉クラッチ(株)	(株)グリフエデュケーション	群馬県建設技術センター
河本工業(株)	山陽技術コンサルタンツ(株)	三益半導体工業(株)
(株)ヤマダ電機	(株)ヤマト	ラジエ工業(株)
(株)アマダホールディングス	FDK(株)	(株)協振技建
クボタ環境サービス(株)	(株)シーエスラボ	鈴与(株)
第一屋製パン(株)	鶴見製紙(株)	(株)道路建設コンサルタンツ
(株)ドコモCS	(独)都市再生機構	(株)日水コン
(株)日本空港コンサルタンツ	(株)ネクスコ東日本エンジニアリング	東日本高速道路(株)
東日本旅客鉄道(株)	(株)ブイテックス	前澤給装工業(株)
三菱マテリアルテクノ(株)	(株)メイテック	(株)薬王堂
(株)横浜銀行	(株)リクルート北海道じゃらん	

【理工学部 電子情報理工学科】

■公務

前橋市

■企業・法人等

(株)オー・エス・ティ

澤藤電機(株)

(株)ジーシーシー

(株)両毛システムズ

アイピーシー(株)

(株)アドバンテスト

NTT東日本グループ<エンジニア>

大崎電気(株)

(株)ケーヒン

太陽誘電(株)

(株)ドコモCS

日本電気(株)

(株)日立ハイテクファインシステムズ

前澤工業(株)

(株)メディアフォース

岡部工業(株)

サンダーバード(株)

(株)高崎共同計算センター

アクティス・ジャパン(株)

(株)アルプス技研

(株)愛媛電算

神田通信機(株)

シグマトロン(株)

(株)中央コンピュータシステム

(株)ドワンゴ

日本信号(株)

富士ソフト(株)

丸紅ITソリューションズ(株)

(株)ヨコオ

(株)クライム

サンデンホールディングス(株)

(株)日東電機製作所

厚木プラスチック(株)

(株)NTTファシリティーズ

(株)エフエム仙台

キャノン・コンポーネンツ(株)

(株)SHIFT

東芝キャリア(株)

(株)日放電子

日本テキサス・インスツルメンツ合同会社

ホシデン(株)

(株)ミクシィ

【理工学部 総合理工学科】

■企業・法人等

サンデンホールディングス(株)

富士ソフト(株)

山本食品工業(株)

(株)ミツバ

マックス(株)

ヤマト運輸(株)

4 学生受入センター

4.1 はじめに

学生受入センターは平成18年4月に発足され、センターにはセンター長（教育・企画担当理事・副学長）と副センター長（兼任）、兼任教員（各学部の入試又は広報担当委員会の委員長）が在籍する組織である。センターの運営については、学生受入センター運営委員会が設置されている。そして、下部組織として入試部会と広報部会を組織し、各学部等から委員が選出されている。なお今年度から、群馬大学広報戦略に基づき、入試広報体制強化のため、アドミッション・コーディネータとして令和元年6月付で1名を学生受入課に採用した。

審議内容は、入学者選抜方法の改善に関すること等（これらを以下、「入試関係業務」という）と、学生募集に係る広報活動に関すること（これらを以下、「広報関係業務」という）である。

入試関係業務の事務は、入学試験委員会と連携を図るほか、学生受入課が各学部の担当係と連携を図り業務を遂行している。そして、広報関係業務は、平成29年6月に設置された「群馬大学広報本部」の下部組織である「学生受入部門」での企画・立案を受けて、広報部会で具体的な実施方法を練り、実行する体制で業務を遂行しており、令和元年10月には、アドミッション・コーディネータを総務部総務課に配置換えし、入試広報を含めた大学広報体制の一元化を図った。

しかし、今後も継続される大学入試改革や18歳人口の減少を踏まえるならば、本学でも学生受入のための機動的で一体化した本格的な組織、すなわち、専任教員が中心となった本格的なアドミッションセンターの設置が必要である。なお、約半数の国立大学では、専任教員が中心となった本格的なアドミッションセンターが、現在設置されて学生受入の業務を実施している状況である。

令和元年度の主な入試・広報関係業務等の事項は、次のとおりである。

4.2 大学入学共通テストへの対応

国立大学協会の提言（「2020年度以降の国立大学の入学者選抜制度－国立大学協会の基本方針－」（平成29年11月10日付）、「大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題の活用に関するガイドライン」（平成30年3月30日付）、「大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題（国語）の活用にあたっての参考例等について」（平成30年6月12日付））に基づき、大学入試センターが2021年度から実施する「大学入学共通テスト」への本学の対応について、今年度新たに生じた課題について検討した。

前年度において本学の対応結果を、本学ウェブサイトにて概要版を平成30年8月22日付で「平成33年度入学者選抜に関する群馬大学の方針」として掲載し、さらに、詳細版を平成31年3月26日付で「2021年度入学者選抜に関する方針」として掲載し、周知を行った。

しかし今年度に入り急遽、令和元年11月1日には、英語の民間試験（外部検定試験）の導入が中止となり、本学の対応について検討した。その結果を、令和元年11月29日付で「2021年度入学者選抜に関する方針」（改訂版）として掲載し、周知を行った。さらに、令和元年12月17日には、国語と数学の記述式問題の導入が中止となり、本学の対応について検討した。その結果を、令和2年3月23日付で「2021年度入学者選抜に関する方針」（再改訂版）として掲載し、周知を行った。

4.3 入学者の選抜方法改善と追跡調査

前年度入試の実施状況等については、受験産業による報告会を学内で複数回実施して最新動向の把握を行った。これらで得た情報に、本学で実施した各種アンケートや入学後の成績等の追跡調査結果を参考とし、各学部から入学者選抜方法における過去3年間の課題等の対応状況や平成31年度入試の総括及び課題の報告をしてもらい、これらを基に、本学で実施している「入学者選抜方法研究報告書」を作成し、次年度以降の入試改革に役立てることとした。

4.4 オープンキャンパス等

本学の教育研究及び学園生活の現状を、具体的に分かりやすく伝える場として、また、受験生の進路決定に資することを目的として、全学のオープンキャンパス「群馬大学オープンキャンパス『GU'DAY2019』」と各学部学科等が開催する「学部別オープンキャンパス」を実施した。これらのオープンキャンパス等に対して、群馬県内の全高等学校と全中学校、東北・関東・中部地方の過去3年間の入学試験において志願者のあった高等学校等（計997校）に案内した結果、高校生及び保護者等延べ11,278名の参加者があった。

4.4.1 群馬大学オープンキャンパス「GU'DAY2019」

令和元年度も前年度と同様に「群馬大学オープンキャンパス」については、7月6日（土）と8月16日（金）の2日間開催で実施した。総務課広報係と連携した事前のPR活動等の効果もあり、2日間で6,242名の来場者があった。

イベント内容についても、平成29年度から発足した「学生広報大使」の発案による企画を引き続き実施し、多くの来場者から好評を得た。加えて、当日実施した参加者へのアンケート調査からも、昨年度と同様に、「学生広報大使が質問等にも丁寧に対応してくれた」旨、高評価が寄せられた。なお、今年度の参加者へのアンケート調査については、多くの回答が実質的に得られるように工夫して実施した。

一方で、昨年度に引き続き、多くの参加者が来場するため、安全に行事を遂行するための体制作りが継続課題となっている。

4.4.2 学部別オープンキャンパス

各学部学科等が開催する「学部別オープンキャンパス」は、志望学部がある程度決まっている高校生等を主な対象として、教育学部、社会情報学部、医学部医学科、医学部保健学科、理工学部それぞれのキャンパスで開催した。各学部学科とも、学部学科説明、在学生の体験発表、模擬授業等を行い、延べ5,036名の参加者があった。

4.5 学生募集に係わる広報活動

学生受入センターでは、学生募集に係わる様々な広報活動を行っており、令和元年度の主な学生募集に係わる広報活動の事項とその状況は、次のとおりである。

4.5.1 高等学校等の教員を対象とした説明会

本学の主催で、高等学校等の進路指導担当等の教員を対象とした「高等学校等の教員を対象とした入学試験に関する大学説明会」を、6月28日（金）に開催した。これは以前、高等学校等の「進路面談（7月中旬頃）の前に、説明会を行って欲しい」旨の意見を進路指導担当等の教員から受け、平成28年から開催日時を従来の7月下旬より前倒しして行っている。当説明会では各学部学科の教育内容や入学試験について担当の教職員から詳しく説明を行っ

た。なお、群馬県内の全高等学校、東北・関東・中部地方の過去3年間の入学試験において志願者のあった高等学校（計997校）に案内した結果、77校91名の教員が参加した。

4.5.2 群馬県高等学校長協会との意見交換会

前年度に引き続き、群馬県高等学校長協会からの要請を受け、今年度は7月9日（火）に群馬県高等学校長協会と本学関係者での意見交換会を実施した。

本意見交換会では、本学の最新情報や、2021年度入試の変更内容などをお知らせするとともに、高等学校側のニーズを直接担当教職員が知る機会となった。

4.5.3 大学説明会・進学相談会

県内・近県等を中心に、高校や受験産業からの要請を受けて、61会場で、大学説明会・進学相談会の対応を行い、高校生及び保護者等に群馬大学のPRを行った。

群馬大学の東京サテライトオフィス（東京都港区／東京工業大学キャンパスイノベーションセンター）において、当初は令和2年3月から月2回、首都圏の高校生、教員、保護者等を対象とした個別進学相談会を定期開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため実施できない状態となった。

4.5.4 夢ナビ

株式会社フロムページが主催する高校向け入試広報イベント「夢ナビ」に全国4会場（仙台・東京・名古屋・大阪）で参画し、延べ9名の教員による講義や学生広報大使・職員によるブース説明を行った。

4.5.5 出張模擬授業

高校からの依頼により、県内・隣県等65校に出向き、出張模擬授業を実施した。

4.5.6 高校訪問

理工学部・社会情報学部・教育学部教職員が、県内・隣県等92校を訪問し、高校の進路指導主事等との意見交換を行った。

4.5.7 大学見学受入

県内外の高校33校から大学見学の受入を行った。

4.5.8 大学案内、大学紹介動画の作成

広報活動のためのツールとして、冊子体の大学案内を作成して、オープンキャンパスや出前説明会等において配付した。また、大学紹介の動画（「【2020年度版】群馬大学 大学案内」等）を作成して、群馬大学公式チャンネル（YouTube）に掲載した。

4.5.9 ウェブサイト等による広報

本学ウェブサイト等を活用し、受験者等への情報発信（LINE、Twitter等のSNSを含む）を種々行っている。「入学者選抜に関する要項」や「学生募集要項」の発表、受験状況の公表のほか、平成25年度からは試験問題及び解答例・評価のポイント、群馬大学入学者選抜における受験上の配慮内容、次年度以降の入試の変更点を公表している。また、大手の受験産業が運営する進学情報ウェブサイト等に入試情報を掲載し、より広範な広報活動を行った。

4.5.10 学生広報大使による広報

本学の広報活動を推進するため、学生ならではの視点を活かして広報活動の企画・実施に参画してもらうことを目的として、平成29年度から新しい取り組みとして「群馬大学学生広

報大使」の活動が行われている。令和元年度も、前年度と同様に、オープンキャンパスへの協力、夢ナビへの参加、高校訪問への同行など多岐にわたる活動を行い、多くの高校生の共感を得た。

4.6 広報戦略の立案

平成29年6月に発足した「群馬大学広報本部学生受入部門」と「学生受入センター広報部会」で連携して、広報戦略等を継続して検討した。

4.7 その他

令和2年度「群馬大学オープンキャンパス『GU'DAY2020』」は、東京オリンピック開催のため今年度と同様の2回実施の日程確保が難しく、令和2年度のみ7月19日（日）の計1日の開催とすることとした。

また、各学部学科等が開催する「学部別オープンキャンパス」について、同じキャンパスである場合には、参加者の利便性を考慮して合同での開催が可能か、各学部学科等へ検討を依頼した。その結果、荒牧キャンパスでは、令和2年7月23日に共同教育学部と社会情報学部の2学部合同開催を目指すことで今後調整をすることとなった。

4.8 学生受入センター資料集

資料4-1：2019年度 入試広報活動まとめ

資料4-2：群馬大学オープンキャンパス「GU'DAY2019」、各学部オープンキャンパス参加者数報告

2019年度 入試広報活動まとめ

2020年4月
事務局総務部総務課

1、群馬大学オープンキャンパス「GU'DAY 2019」

開催日	会場（参加者数）	主な対象者	主催
7月6日（土）	荒牧キャンパス (624名)	高校生	学生受入センター
8月16日（金）	荒牧キャンパス (5618名)	高校生	学生受入センター

2、各学部オープンキャンパス

開催日	イベント名（参加者数）	主な対象者	主催
7月15日（月）	教育学部オープンキャンパス (592名)	高校生	教育学部
7月20日（土）	理工学部オープンキャンパス (528名)	高校生	理工学部
7月21日（日）	理工学部オープンキャンパス (769名)	高校生	理工学部
7月25日（木）	医学部医学科オープンキャンパス (889名)	高校生	医学科
7月27日（土）	社会情報学部オープンキャンパス (515名)	高校生	社会情報学部
8月9日（金）	医学部保健学科オープンキャンパス (1104名)	高校生	保健学科
9月8日（日）	理工学部オープンキャンパス (639名)	高校生	理工学部

3、高校教員向け入試説明会 2019

開催日	会場・参加高等学校数・参加者数	主な対象者	主催
6月28日（金）	荒牧キャンパス・77校 91名	進路指導担当教諭	学生受入センター

4、進学相談会等

開催日	実施場所	主な対象者	実施者
4月～翌年1月	高崎健康福祉大学高崎高校ほか 60会場	高校生、教諭	学生受入センター 総務部総務課 各学部

5、出張模擬授業等

開催日	実施場所	主な対象者	実施者
5月～翌年2月	新島学園高校ほか 64校	高校生	各学部

6、高校訪問

訪問日	訪問先	主な対象者	実施者
5月～翌1月	掛川工業高校ほか91校	進路指導教諭	理工学部 総務部総務課

7、大学見学

実施日	来学校	主な見学者	対応
4月～12月	野沢南高校ほか32校	高校生、保護者、教諭	学生受入センター 総務部総務課 各学部

8、東京サテライトオフィス個別進学相談会

実施日	申込校	主な対象者	主催
3月	東京都立江北高校ほか2校	首都圏の高校生、教諭	総務部総務課

※新型コロナウイルス感染症防止の観点から休止中

9、ダイレクトメール等の配信

実施日	内容	対象者	対応
9月25日(水)	学生募集要項公表の案内、「夢ナビTALK」ページ公開の案内	全オープンキャンパスの申込者 (OC受付システムにより配信) 約7000名	学生受入センター
2020年 1月23日(木)	理工学部一般入試の案内	全学・理工学部オープンキャンパスの申込者(現高校3年生) (OC受付システムにより配信) 約1900件	理工学部
2020年 2月上旬	東京サテライトオフィス個別進学相談会スタートのお知らせ(A4用紙1枚の周知文とチラシ)を郵送	東京、埼玉、神奈川、千葉の全高校(約1000校)の進路指導教諭	総務部総務課

10、有料広告掲載

実施日	媒体名	内容	規格・部数	対応
6月6日(月) ～ 7月31日(水)	グーグル合同会社「グーグル広告」	動画、検索、リマーケティングの3種の広告を配信し、全学OC申込ページに誘導	動画は関東全域、新潟、長野、富山、石川に配信 検索とリマーケティングは全国に配信	総務部総務課
7月7日(日)	下野新聞「2019夏休オープンキャンパス・体験入学」特集	連合広告(オープンキャンパス案内)	タブロイド判 163mm×108mm 32万部+栃木県内高校	理工学部
7月30日 (火) 発行	AERAMOOK「就業力で選ぶ大学2020」	連合広告(国立大学56工学系学部長会議)	96mm×90mm 5万部	理工学部

2020年 1月18日 (土) 発行	(株) フロムページ「入試直前 激励号 2020」	在学生からの激励 メッセージ、大学広 告を掲載	A4 判冊子 高3生対象でダイレクト メール 30万部、 高等学校配付 10万部頒布	総務部総 務課
2020年 1月18日 (土) 発行	(株) フロムページ「入試直前 激励号 2020」	チラシ(理工学部一 般入試案内)の同封	A4 両面 首都圏エリア 84,000 件 甲信越エリア 13,000 件	理工学部
2020年 1月20日 (月)	読売新聞「国立 大学 56 工学系学 部長からのメッ セージ」	連合広告(国立大学 56 工学系学部長会 議)	朝刊本紙(全国版) 850 万部	理工学部
2020年 1月24日 (金)	読売中高生新聞 「国立大学 56 工 学系学部長から のメッセージ」	連合広告(国立大学 56 工学系学部長会 議)	タブロイド判(全国版) 9 万部	理工学部

※進学相談会等の件数は高校アプローチ管理システムから集計(延べ数)

※2019年10月1日付で入試広報業務が学務部学生受入課から総務部総務課に移管されたことに伴い、
アドミッション・コーディネータが同課へ異動

群馬大学オープンキャンパス「GU'DAY2019」, 各学部オープンキャンパス参加者数報告

令和元年.9.9現在(単位:人)
学生受入課

区 分	令和元年度(2019年度)				平成30年度(2018年度)		平成29年度(2017年度)	
	開催日	参加者数	平成30年比 増△減	平成29年比 増△減	開催日	参加者数	開催日	参加者数
群馬大学 全学オープンキャンパス 「GU'DAY」 (荒牧キャンパス)	7月6日(土)	624	△ 1,176	△ 600	7月8日(日)	1,800	7月9日(日)	1,224
		生徒 410	△ 628	△ 236		生徒 1,038		生徒 646
		保護者 214	△ 548	△ 364		保護者 762		保護者 578
	8月16日(金)	5,618	698	/	8月17日(金)	4,920	/	
		生徒 3,797	213			生徒 3,584		
		保護者 1,821	485			保護者 1,336		
	小計	6,242	△ 478	5,018	小計	6,720	小計	1,224
		生徒 4,207	△ 415	3,561		生徒 4,622		生徒 646
		保護者 2,035	△ 63	1,457		保護者 2,098		保護者 578
	教育学部 オープンキャンパス (荒牧キャンパス)	7月15日(月)	592	△ 318	△ 209	7月16日(月)	910	7月17日(月)
生徒 357			△ 236	△ 209	生徒 593		生徒 566	
保護者 235			△ 82	0	保護者 317		保護者 235	
社会情報学部 オープンキャンパス (荒牧キャンパス)	7月27日(土)	515	/	△ 195	7月28日(土)	/	7月29日(土)	710
		生徒 353		△ 114		生徒 467		
		保護者 162		△ 81		保護者 243		
医学部医学科 オープンキャンパス (昭和キャンパス)	7月25日(木)	889	173	546	7月26日(木)	716	7月27日(木)	343
		生徒 452	64	245		生徒 388		生徒 207
		保護者 437	109	301		保護者 328		保護者 136
医学部保健学科 オープンキャンパス (昭和キャンパス)	8月9日(金)	1,104	195	98	8月7日(火)	909	8月9日(水)	1,006
		生徒 690	136	△ 15		生徒 554		生徒 705
		保護者 414	59	113		保護者 355		保護者 301
理工学部 オープンキャンパス (桐生キャンパス)	7月20日(土)	528	△ 70	△ 107	7月21日(土)	598	7月22日(土)	635
		生徒 298	△ 53	△ 109		生徒 351		生徒 407
		保護者 230	△ 17	2		保護者 247		保護者 228
	7月21日(日)	769	△ 51	△ 255	7月22日(日)	820	7月23日(日)	1,024
		生徒 408	△ 51	△ 180		生徒 459		生徒 588
		保護者 361	0	△ 75		保護者 361		保護者 436
	9月8日(日)	639	30	183	9月9日(日)	609	9月10日(日)	456
		生徒 329	10	94		生徒 319		生徒 235
		保護者 310	20	89		保護者 290		保護者 221
	小計	1,936	△ 91	△ 179	小計	2,027	小計	2,115
生徒 1,035		△ 94	△ 195	生徒 1,129		生徒 1,230		
保護者 901		3	16	保護者 898		保護者 885		
9回 合計	11,278	△ 4	5,079	8回 合計	11,282	8回 合計	6,199	
	生徒 7,094	△ 192	3,273		生徒 7,286		生徒 3,821	
	保護者 4,184	188	1,806		保護者 3,996		保護者 2,378	

※令和元年度の「医学部保健学科オープンキャンパス」はホームページ上の申込定員を30人増やした。

※平成30年度の「社会情報学部オープンキャンパス」は台風で中止となったが、申込者数は480人(生徒272人、保護者208人)だった。

5 健康支援総合センター

5.1 はじめに

健康支援総合センター（以降「センター」と表記）は、学生ならびに教職員の心身の健康の保持増進を図るため、学生健康診断やその事後措置としての助言・指導、健康に関する相談対応、感染症の流行情報の把握と予防教育活動、及び健康に関連した調査や研究を行っている。センターの活動は、大学を取り巻く環境が変化していく中で、確実に業務内容の拡充が求められ、それに応える形で着実に進められてきたが、さらなる状況の変化に基づく要請に応じ、以下の方針について確認を行った。

- ・学内関連組織との円滑な連携に基づく学生のメンタルヘルス支援拡充
- ・障害学生支援室との連携強化（平成28年4月施行 障害者差別解消法）
- ・学外の医療・教育関係機関との連携による地域貢献活動の拡充

5.2 令和元年度実施事業

5.2.1 学生定期健康診断の実施

令和元年度の学生定期健康診断は、資料5-1に示す日程で実施した。今年度から前橋地区の健康診断日を半日減らし、45日間実施した。

健診当日は、医学部附属病院の派遣協力による医師延べ26名（桐生地区派遣医師を含む）、学外機関からの派遣協力による看護師延べ75名体制で滞りなく実施した。

受検状況は資料5-2に示すとおりであった。学部学生を受検率は前橋地区全体で93.6%（数値は「血圧測定・尿検査・内科診察」を示す。以下同様）、桐生地区では全体で89.6%と良好な結果であった。学部別では教育学部97.4%、社会情報学部91.8%、医学部医学科83.7%、医学部保健学科97.1%、理工学部1年97.8%、理工学部・工学部2年以上90.1%の受検率となった。1年生に関しては、教育学部99.6%、社会情報学部97.1%、医学部医学科98.1%、医学部保健学科100%、理工学部97.8%と例年と同様、ほぼ全員が受検した。資料5-3は、各検査結果について示したものである。要精検者については、医療機関への紹介状を作成し、円滑な受診につなげている。

5.2.2 精神保健調査の実施

各学部新入生、大学院新入生（医学系研究科生、保健学研究科生、理工学府生を除く）、特別支援教育特別専攻科新入生、編入生及びその他の学生（在校生）を対象に精神保健調査（スクリーニング検査）を行い、要面接者に対して、センター医師2名と非常勤の公認心理師、臨床心理士及び附属病院精神科医師4名により、診断的面接を実施した。

方法は、メンタルヘルス質問票33項目を用い、抑うつ状態、気分変調、精神病像、食行動異常、生活支障度、相談希望、既往歴についてスクリーニングし、面接の要否を判定した。結果については資料5-4に示すとおりであった。要面接者は、新入生1.3%で昨年度よりやや減少、在校生においては1.9%とやや増加を認めたが、一昨年度と比べると同じ比率であることからメンタルヘルス不調の中核群の抽出は堅持されていると考えられ、早期診断やその後の支援に向けたフォローにおいても効果的に機能している調査であると考えられる。

5.2.3 学校生活に関する困りごと調査の実施

新入生については、「学校生活に関する困りごと調査」を実施した。4月の入学時に実施すると「新入学にあたっての困りごと（入学に対しての不安）」という観点から回答する例

が多く、実際の学校生活が始まり解消されたという学生が要面接者の約半数を占めていた経緯もあり、平成29年度からは6月の全1年生を対象とした講義内で実施、結果より「相談を希望する」「相談するべきかどうか迷っている」と答えた学生に対し面接を勧めた。面接は、センター医師（講師）、学生支援室室長である教員が担当した。結果は資料5-5に示すとおりであった。

5.2.4 学生特殊健康診断の実施

特殊健康診断の受診対象者は、「常時使用する労働者」であり、教職員、非常勤職員であるが、学生も実習や実験研究を通じて、教員等と同様の環境下にあることから特殊健康診断の対象とすることが必要であると考えられる。このことから、平成26年度より「特殊健康診断を受診している教員の研究室に配属している理工学部4年生及び理工学府生、工学研究科生」、「作業環境測定結果が、第二及び第三管理区域であった研究室に配属している理工学部4年生及び理工学府生、工学研究科生」を対象に同健康診断を実施している。結果は資料5-6に示すとおりであった。受診者214名中、異常なし201名、要経過観察者10名、要精密検査者は3名であった。要精密検査の学生には、医療機関を受診し必要な検査を受けるよう個別指導を行った。

5.2.5 外国人留学生健康診断の実施

平成21年度から感染性肺結核の有無を検査するクオンティフェロンTBゴールド検査を実施していたが、平成30年度よりT-SPOTに変更して検査を実施した。結果は資料5-7に示すとおりであった。陽性者5名については医療機関を紹介し、うち2名が潜在性肺結核として治療を開始し、3名は経過観察となった。外部医療機関や地域の保健所（前橋）との連携強化も行った。

留学生1名が、健診未受検で感染性肺結核を発症し、隔離入院加療を行った。保健所の指示に従い、濃厚接触者の把握のための情報収集と提供を行ったが、この例を踏まえ、入国後すぐの胸部レントゲン検査の実施に向けて、次年度よりの留学生健診の時期について関係者と検討が行われた。

5.2.6 自殺予防対策ワーキンググループの発足

関係部局と連携して自殺予防対策ワーキンググループを立ち上げた。自殺対策は全学的な連携が重要であり、各学部学科代表による委員構成とし、平成31年2月8日に第1回会議を行い、ガイドライン作成に向けたスケジュールを立てた。センター医師と障害学生支援室長で、それぞれ広島大学と岐阜大学への視察を行い、ワーキンググループメンバーと情報共有を行った。

5.3 健康支援総合センター利用状況

5.3.1 利用人数及び件数

健康支援総合センター利用人数は、1,052名（年間延べ人数）であった。からだの健康相談、こころの健康相談、健康診断書の発行についての各件数を月別に集計した。結果は資料5-8に示すとおりであった。健康診断書については、そのほとんどが自動発行のシステムを利用して発行されており、所定の健康診断書への記入が必要であった134件に関してはセンターで発行した。

5.3.2 健康相談の対応内容別件数及びカウンセリング報告

健康相談を「からだの健康相談」と「こころの健康相談」に分けて月別に集計した。結果

は資料5-9に示すとおりであった。救急車やタクシーによる救急転送は6件であった。さらに、こころの健康相談者数とその内容については資料5-10に示す。また、全4キャンパスでの公認心理師、臨床心理士による月別カウンセリング利用者数及び動機内訳を資料5-11に示した。カウンセリングの開設時間は、荒牧では週10時間、桐生では週14時間であった。令和元年度から、利用者が少なかった昭和キャンパスでのカウンセリングを廃止し、荒牧での開設時間を増やし対応した。教職員に対するカウンセリングは61回（年間）行われた。学生本人だけでなく、学生家族や担当教員との面談や電話・メール相談も随時実施した。今後とも、センターで受ける健康相談数は増加することが予測され、センター医師や公認心理師が対応する相談やカウンセリングに要する時間の増加は避けられないと想定される。

新たな問題として、外国からの留学生の増加とその日本語能力の平均的な低下に伴い、母国語を用いたカウンセリングの機会なども含めた留学生のメンタルヘルス不調への全学的な対応体制が求められている。留学生の中にはすでにメンタルヘルス疾患を有して来日するものもあるが、送り出し元の大学等からの医療情報が本学に届いていなかったケースや、留学後に発症しても、日本語での受診が出来ず、母国語での受診が必要になったり、あるいは自らの状態やそれにまつわる疾病への基本知識が不足していたりするために、周辺の医療資源を円滑に利用できなかったケースなどが生じていた。このことから喫緊の課題として、留学生の健康管理に対する支援として、感染症問題（結核等：前述）と並び、メンタルヘルス不調への対応体制を、本学の受け入れ先学部や国際交流関連部門と連携して全学的に検討することが必要であると考えに至った。

5.3.3 疾病領域別利用者数

疾病領域別利用者数を月ごとに集計した表を資料5-12に示す。メンタル系症状に関連するものが圧倒的に多数を占め、次いで呼吸器系症状、外科・整形外科系症状に関連するものが多数を占めた。呼吸器系症状では、流行性の感冒によるものが多く、外科・整形外科系症状では、打撲や擦過傷や捻挫など外傷によるものが多く見られた。必要に応じ、医療機関を紹介した。メンタル系症状については、前年度から159件増加しており、内科医・カウンセラーによる心理相談を行い、必要に応じてセンター精神科医が面接し医療機関を紹介した。

5.3.4 診療科別医療機関紹介件数

センターから他の医療機関への紹介件数は、延べ学生67件、教職員4件であり、結果は資料5-13に示すとおりであった。

5.3.5 薬剤別処方日数

健康支援総合センターで処方した薬剤の量を投与日数で集計した。結果は資料5-14に示すとおりであった。内訳については、総合感冒薬の処方が多く、次いで外用消炎剤、含嗽剤、去痰剤、解熱鎮痛消炎剤の処方が多かった。

5.3.6 桐生地区・保健室利用状況

桐生地区での保健室利用状況は資料5-15に示すとおりであった。

5.3.7 昭和地区・学生健康相談室利用状況

昭和地区での学生健康相談室利用状況は資料5-16に示すとおりであった。

5.3.8 キャンパス・ソーシャルケースワーカーによる活動

キャンパス・ソーシャルケースワーカーの活動は、各キャンパスで教員からの要請に従い支援を行っている。令和元年度は資料5-17に示すとおり、桐生地区17名、荒牧地区1名の計18名の学生への対応の要請があった。事例から得られた経験を蓄積することで、更なる機能

の向上をめざす。

5.4 教育関連活動

センターの医師は、教員として教養教育等の講義を担当している。新入生を対象とした教養基盤科目のスポーツ・健康「健康教育」について、傷病対策及びメンタルヘルス不調対策として、それぞれ90分の講義を5回（同一内容）行った。内科医からは「からだからのサインに気づく」と題して大学生に必要となる傷病対策についての講義を行い、精神科医からは「精神の健康」をテーマに発達障害を含めたメンタルヘルス不調全般について講義を行った。2月には学務部主催のクラブ・サークルリーダーシップ研修会において、「飲酒とタバコ健康に関するルールとマナー」と題して60分間の講演を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけて中止となった。更に、精神科医師は、非常勤講師として医学部医学科3年生臨床行動科学講義（「心の健康を保つには」）を行った。入学後のアルコールに関するトラブルを未然に防ぐ目的で、入学時オリエンテーションの際に新入生対象にパッチテストを用いたアルコール感受性についての講習を行い、体験を通じて各自のアルコールへの理解を深めた。3月末には、ハラスメント相談員のための支援として、相談対応時の心得という内容で研修（桐生地区）をセンター講師が行なった。

5.5 健康管理に関する調査研究活動

4月の健康診断時に全学年対象に、メンタルヘルススクリーニング調査を行い、7月には新入生対象に、発達障害関連に対応した学校生活における困りごと調査を行い、データの分析・検討を行った。また、自殺予防対策ワーキンググループの活動として、広島大学及び岐阜大学へ関係教員で視察を行い、ガイドライン作成のための情報を収集した。

5.6 健康支援総合センター主催の委員会等

下記の委員会等を主催した。

- 1) 令和元年度健康支援総合センター運営委員会（7月8日、12月2日）
- 2) 令和元年度群馬県内大学等メンタルヘルス研究会「大学生の自殺対策の実際」（講師 影山隆之 大分県立看護科学大学教授）（9月27日）
- 3) 群馬県内大学等保健管理担当者会議（9月27日、令和2年1月29日）

群馬県内の大学、短期大学、高等専門学校の保健管理担当実務者及び事務担当者の出席により開催した。会議内容は、研究集会の報告、講義、「健康ミニガイド」の作成、情報交換などである。

5.7 健康支援総合センターの全国会議等出席

下記の全国会議等に健康支援総合センターの教職員が出席し、最新の情報の収集を行い、センターの機能強化に役立った。さらに関係大学との情報交換を行い、連携を深めた。

- 1) 第13回全国大学保健管理協会総会および国立大学法人保健管理施設協議会総会および全国大学メンタルヘルス研究会理事会：京都（6月25日）副センター長が出席
- 2) 第57回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会：神奈川（8月29、30日）副

センター長，講師が出席

- 3) 第57回全国大学保健管理研究集会：北海道（10月9，10日）副センター長，講師が出席
- 4) 令和元年度 国立大学法人保健管理施設協議会総会：北海道（10月8日）副センター長が出席
- 5) 第41回全国大学メンタルヘルス学会：大阪（12月5，6日）講師，副センター長が出席，副センター長が学会教育講演実施

5.8 学内行事実施に伴う救護業務

下記の学内行事に教職員が救護活動を行った。

- ・教育学部体育大会
- ・大学説明会
- ・社会情報学部第3年次編入学試験
- ・社会情報学部スポーツ大会
- ・教育学部，社会情報学部推薦入学試験
- ・荒牧祭
- ・大学入試センター試験
- ・個別学力検査（前期，後期）
- ・学位記授与式

5.9 出版・広報活動

令和元年度は下記の出版，広報活動を行った。

- 1) 「健康ミニガイド2019～よりよいキャンパスライフを送るために～」を発行した。先に示した群馬県内大学等保健管理担当者会議が健康についての意識や知識を高めてもらうことを目的に共同で作成した冊子であり，新入生に配布した。
- 2) 「群馬大学 大学教育・学生支援機構報告書 健康支援総合センター」の平成30年度の原稿を作成して提出した。
- 3) 健康診断を受けた学生全員に健康支援総合センター案内用カードを作成配布した。
- 4) FMぐんま「サンセット5」取材（副センター長）
5月6日放送「五月病について」
- 5) 群馬テレビ「ビジネスジャーナル」出演（副センター長）
8月23日「職場のメンタルヘルス～発達障害者への対応の実際～」
- 6) 共著（副センター長）「シンプル衛生・公衆衛生学 2019」（南江堂），2019年，東京
- 7) 共著（副センター長）全国柔道整復学校協会監修「衛生・公衆衛生学 改訂第6版第5刷」（南江堂），2020年1月，東京
- 8) 監修（副センター長）「衛生テキスト」（日本バーテンダー協会），2019年，東京

5.10 社会貢献活動

センターの医師は，専門性を生かして下記の社会貢献活動を行った。

【精神科医（副センター長）】

各種外部委員，嘱託医及び各関係機関からのコンサルテーション要請への対応
令和元年度 群馬地方労働審議会・委員長代行

令和元年度 群馬県障害者雇用対策プロジェクトチーム・座長
令和元年度 全国大学メンタルヘルス学会・理事
令和元年度 全国大学保健管理協会・評議員
令和元年度 前橋市教育委員会学校問題対策委員
令和元年度 群馬産業保健総合支援センター・相談員
令和元年度 群馬産業保健総合支援センター・評価委員
令和元年度 群馬大学医学部非常勤講師（公衆衛生学，精神医学）
令和元年度 北関東医学会・評議員
令和元年度 群馬職域メンタルヘルス交流会・幹事

そのほか群馬県医師会，群馬県看護協会，群馬県こころの健康センター，群馬労働基準協会連合会，群馬職域メンタルヘルス交流会，群馬産業保健総合支援センター，全国大学生メンタルヘルス学会，日本産業カウンセラー協会，日本バーテンダー協会，子育て支援センターなどの要請に応じて各種講演や講義を行った。

【内科医】

嘱託医及び各関係機関からのコンサルテーション要請への対応

令和元年度 渋川看護専門学校非常勤講師

令和元年度 高崎市乳幼児健診事業 内科診察及び発達・発育相談

令和元年度 群馬大学 性の多様性に関する基本的考え及び対応ガイドラインに基づく支援（にじいろライン相談員）として初期面談対応を担当。

5.11 産業保健活動

産業保健活動に関しては人事労務課が統括しているが，平成25年度途中から荒牧・上沖・若宮地区に関しては健康支援総合センター医師2名（内科，精神科）が兼務する体制をとっている。昭和地区は医学部専任教員である非常勤医師（精神科，産業医）1名が兼務しており，桐生・太田地区は桐生市医師会医師に依頼している。平成27年度にはこれらの産業医の意見を集約するための産業医部会が発足した。

5.11.1 安全衛生委員会

荒牧及び若宮事業場は内科医が出席し，毎月の委員会中での職場巡視の報告及び質疑応答を通じて，職場環境改善のための指摘を行なった（1回／月，8月を除く）。

5.11.2 産業医部会

産業医部会を年数回開催した。主に，本学のストレスチェック制度の実施について討議した。特に平成30年度から受診率を上げるために紙ベースによる調査形式に切り替えている。

5.11.3 職員の定期健康診断

人事労務課からの依頼を受け，若宮事業場及び上沖事業場の職場健診における内科診察を行った。全事業場に勤務する教職員の健診結果の判定及び個別結果の事後措置，医療保健相談についてはセンター内科医が対応した。

5.12 本来業務以外の支援業務

荒牧地区における医学部1年生へのB型肝炎ワクチン接種および事後採血への依頼に関し

て、附属病院救急部など関係機関と連携を取り、実施体制や安全管理体制について明確化を行い、必要な人材を現地に派遣して対応した。

全学危機対策本部会議にアドバイザーとして招集され、新型コロナウイルス対策の一部について意見を述べた（3月31日、副センター長）。

5.13 健康支援総合センターの現状及び今後の方向性

学生のメンタルヘルス不調、特に発達障害が疑われる学生への対応の要請がさらに増えており、修学が困難になるケースも多く認められ、更にきめ細かい支援が必要なケースが増えている。平成29年12月より専任の教員を障害学生支援室長として新たに迎え、障害学生サポートルームとの連携を強化し、個々のケースに対応する体制作りの見直しを開始した。また、メンタルヘルス不調学生の就職活動についても積極的な支援を開始した。本人はもちろん支援に関わる職員や教員と密に連絡を取り合い、情報を共有するシステム作りに取り組んできたが、キャンパス間でのスムーズな対応も含めての機能向上に向けた体制作りが急務である。

同時に、喫緊の課題である自殺予防対策についてワーキンググループを発足させ、全学的体制に向けたガイドライン作成に着手している。

さらに、（特に日本語の不自由な）留学生の入学増加に伴い、感染症及びメンタルヘルス問題への対応が迫られているが、全学的な検討が未だ確立されていないため、担当部門との連携体制づくりが早急に求められている。

また、人事労務課の要請のもとに、教職員のメンタルヘルス対応体制の充実への協力を進めている。

なお、令和2年1月以降は、世界的に蔓延し始めた新型コロナウイルスへの学内対応の検討が開始され、対策の一翼を担うための準備を開始した。

5.14 健康支援総合センター資料集

- 資料5-1：令和元年度 前橋地区学生定期健康診断日程表
- 資料5-1-2：令和元年度 桐生・太田地区学生定期健康診断日程表
- 資料5-2-1：令和元年度 学生定期健康診断受検状況（前橋地区）
- 資料5-2-2：令和元年度 学生定期健康診断受検状況（桐生・太田地区）
- 資料5-3：令和元年度 学生定期健康診断結果
- 資料5-4：令和元年度 精神保健調査結果
- 資料5-5：令和元年度 学校生活に関する困りごと調査結果
- 資料5-6：令和元年度 学生特殊健康診断結果
- 資料5-7：令和元年度 外国人留学生健康診断結果
- 資料5-8：令和元年度 健康支援総合センター利用状況
- 資料5-9：令和元年度 健康相談の対応内容
- 資料5-10：令和元年度 こころの健康相談者数
- 資料5-11：令和元年度 公認心理師・臨床心理士による心理カウンセリング報告
- 資料5-12：令和元年度 疾病領域別利用者数
- 資料5-13：令和元年度 診療科別医療機関紹介件数
- 資料5-14：令和元年度 薬剤別処方日数
- 資料5-15：令和元年度 桐生地区・保健室利用状況
- 資料5-16：令和元年度 昭和地区・学生健康相談室利用状況
- 資料5-17：令和元年度 キャンパスソーシャル・ケースワーカー業務について

令和元年度 前橋地区学生定期健康診断日程表

受付時間 実施日	午 前		午 後		対象数(概数) 3,860名	
	9:00~10:15 (75分)	10:15~11:30 (75分)	13:00~14:30 (90分)	14:30~16:00 (90分)		
4. 1(月)	/		医学部保健学科 2年	医学部保健学科 3年	合計445名	
			医学部医学科 2年			
4. 2(火) ※全学オリエンテーション	教育学部 4年 (国語・社会・英語・ 数学・理科・技術)		(音楽・美術・ 家政・保健体育・ 教育・教育心理・ 障害児教育)	(看護)	(検査・理学・作業)	午前480名 午後540名 合計1,020名
	社会情報学部 4年		医学部医学科 3年	医学部医学科 4年		
	医学部医学科 6年		医学部医学科 5年			
4. 3(水) ※学部別オリエンテーション	教育学部 1年 (国語・社会・英語・ 数学・理科・技術)		(音楽・美術・ 家政・保健体育・ 教育・教育心理・ 障害児教育)	(国語・社会・英語・ 数学・理科・技術)	(音楽・美術・ 家政・保健体育・ 教育・教育心理・ 障害児教育)	午前340名 午後390名+ α 合計730名+ α
	医学部医学科 1年		理工学部 1年 (電子情報) (総合理工)			
			予備日			
4. 4(水)	社会情報学部 1年		医学部保健学科 1年 (看護)		(検査・理学・作業)	午前430名 午後505名 合計935名
	社会情報学部3年次編入生		医学部医学科 2年次編入生	医学部保健学科 3年次編入生		
	理工学部 1年 (機械知能システム)		理工学部 1年 (化学・生物化学)			
	大学院(教育学) 1~2年		大学院(社会情報学) 1~2年			
	特別支援教育特別専攻科		大学院(医学系, 保健学) 1年			
4. 5(金) ※入学式	社会情報学部 2年		社会情報学部 3年		午前330名 午後400名+ α 合計730名+ α	
	教育学部 3年 (国語・社会・英語・ 数学・理科・技術)		大学院(医学系, 保健学) 2~4年			
	(音楽・美術・ 家政・保健体育・ 教育・教育心理・ 障害児教育)		予備日			

※ 健康診断項目: 既往歴, 身体計測, 視力測定, 血圧測定, 検尿, 胸部X線撮影, 内科診察, アンケート

※ 健康診断会場: 健康支援総合センター・基幹棟

令和元年度 桐生・太田地区学生定期健康診断日程表

キャンパス	検査項目	実施日	時間	対象数(概数) 2,540人
桐生 キャン パス	胸部X線撮影・ 検尿	4月9日(火)	9:00～11:30 13:00～16:00	2,440人
		4月10日(水)		
		4月11日(木)		
	内科診察・ 計測	4月16日(火)	13:00～17:00	
		4月17日(水)		
		4月18日(木)		
		4月19日(金)		
太田 キャン パス	全項目	5月8日(水)	13:30～14:30	100人

- ・クラスごとの実施割振りは、平成31年度前期授業時間割表により決定する。
- ・授業の空き時間を活用し、全ての実施時間が授業と重なった場合は休講措置とする。

<健康診断項目>

- 4月 9日～11日 胸部X線撮影・検尿・アンケート
- 4月16日～19日 既往歴・身体計測・血圧測定・内科診察
- 5月 8日 胸部X線撮影・検尿・既往歴・身体計測・血圧測定・内科診察・アンケート

令和元年度 学生定期健康診断受検状況（前橋地区）

	対象者数	血圧測定・尿検査・内科診察		胸部X線撮影	
		受検者数	受検率	受検者数	受検率
学部合計	3,357	3,141	93.6%	3,135	93.4%
大学院等の合計	517	197	38.1%	192	37.1%
合計	3,874	3,338	86.2%	3,327	85.9%

対象者数は平成31年4月1日現在の学生数とし休学者は除いた。

受検率は小数点第二位を四捨五入

上記の他に、下記の27名が受検した。

教育学部特別聴講学生7名、社会情報学部特別聴講学生7名、医学部研究生1名

理工学部12名【4年4名、大学院理工学府1年6名、大学院理工学府2年2名】

<学部学生>

		対象者数	血圧測定・尿検査・内科診察		胸部X線撮影		
			受検者数	受検率	受検者数	受検率	
教育学部	1年	234	233	99.6%	233	99.6%	
	2年	237	234	98.7%	234	98.7%	
	3年	227	225	99.1%	225	99.1%	
	4年	243	225	92.6%	225	92.6%	
	合計	941	917	97.4%	917	97.4%	
社会情報学部	1年	102	99	97.1%	99	97.1%	
	2年	102	94	92.2%	93	91.2%	
	3年	126	112	88.9%	112	88.9%	
	4年	135	122	90.4%	122	90.4%	
	合計	465	427	91.8%	426	91.6%	
医学部	医学科	1年	108	106	98.1%	105	97.2%
		2年	140	119	85.0%	119	85.0%
		3年	139	86	61.9%	86	61.9%
		4年	112	104	92.9%	103	92.0%
		5年	136	106	77.9%	105	77.2%
		6年	118	109	92.4%	109	92.4%
	合計	753	630	83.7%	627	83.3%	
	保健学科	1年	163	163	100%	163	100%
		2年	158	150	94.9%	149	94.3%
		3年	166	160	96.4%	160	96.4%
		4年	161	156	96.9%	156	96.9%
	合計	648	629	97.1%	628	96.9%	
	合計	1,401	1,259	89.9%	1,255	89.6%	
	理工学部	1年	550	538	97.8%	537	97.6%
学部合計	3,357	3,141	93.6%	3,135	93.4%		

<大学院学生>

		対象者数	血圧測定・尿検査・内科診察		胸部X線撮影			
			受検者数	受検率	受検者数	受検率		
教育学研究科	修士課程	1年	21	17	81.0%	17	81.0%	
		2年	27	20	74.1%	20	74.1%	
	専門職学位課程	1年	12	7	58.3%	7	58.3%	
		2年	15	3	20.0%	3	20.0%	
教育学部特別支援教育特別専攻科		14	10	71.4%	10	71.4%		
合計		89	57	64.0%	57	64.0%		
社会情報学研究科	修士課程	1年	4	4	100%	4	100%	
		2年	16	11	68.8%	11	68.8%	
	合計	20	15	75.0%	15	75.0%		
医学研究科	医科学専攻	修士課程	1年	6	6	100%	6	100%
			2年	10	8	80.0%	8	80.0%
		博士課程	1年	51	20	39.2%	19	37.3%
			2年	60	19	31.7%	18	30.0%
	3年		44	12	27.3%	10	22.7%	
	合計	99	9	9.1%	9	9.1%		
	保健学専攻	博士前期課程	1年	37	22	59.5%	21	56.8%
			2年	55	19	34.5%	19	34.5%
		博士後期課程	1年	12	6	50.0%	6	50.0%
			2年	10	2	20.0%	2	20.0%
			3年	24	2	8.3%	2	8.3%
合計		138	51	37.0%	50	36.2%		
合計		408	125	30.6%	120	29.4%		
大学院等の合計		517	197	38.1%	192	37.1%		

令和元年度 学生定期健康診断受検状況（桐生・太田地区）

区 分			対象者数	内科診察・計測		胸部X線撮影・検尿	
				受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)
理工学部・工学部	昼 間	2年	538	504	93.7	516	95.9
		3年	593	504	85.0	528	89.0
		4年	577	532	92.2	542	93.9
		昼間計	1,708	1,540	90.2	1,586	92.9
	夜間	4年	2	0	0.0	0	0.0
	学部合計		1,710	1,540	90.1	1,586	92.7
理工学府・工学研究科	修 士	1年	329	315	95.7	315	95.7
		2年	324	297	91.7	297	91.7
		修士計	653	612	93.7	612	93.7
	博 士	1年	18	9	50.0	9	50.0
		2年	32	16	50.0	16	50.0
		3年	31	12	38.7	12	38.7
		博士計	81	37	45.7	37	45.7
	大学院合計		734	649	88.4	649	88.4
合 計			2,444	2,189	89.6	2,235	91.4

※対象者数は平成31年4月1日現在の学生数(休学者を除く)

受検率は小数点第2位を四捨五入

令和元年度 学生定期健康診断結果

(1)身体測定

	受検者数	結 果									
		やせ				正常		肥満			
		BMI 17.0以下		BMI 17.1～18.6		BMI 18.6～24.9		BMI 25.0～29.9		BMI 30.0以上	
人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
教育学部	974	12	1.2%	73	7.5%	763	78.3%	107	11.0%	19	2.0%
社会情報学部	442	20	4.5%	56	12.7%	324	73.3%	35	7.9%	7	1.6%
医学部	1,384	24	1.7%	105	7.6%	1,125	81.3%	109	7.9%	21	1.5%
理工学部	538	18	3.3%	56	10.4%	385	71.6%	60	11.2%	19	3.5%
合 計	3,338	74	2.2%	290	8.7%	2,597	77.8%	311	9.3%	66	2.0%

(2)血圧測定

1)一次検査

	受検者数	結 果			
		正常血圧		高血圧疑い	
		人数	%	人数	%
教育学部	974	957	98.3%	17	1.7%
社会情報学部	442	429	97.1%	13	2.9%
医学部	1,384	1,359	98.2%	25	1.8%
理工学部	538	520	96.7%	18	3.3%
合 計	3,338	3,265	97.8%	73	2.2%

2)二次検査

	対象者数	結 果				医療機関紹介結果		
		正常血圧	経過観察	医療機関紹介	未受検	異常なし	経過観察	要治療
教育学部	17	16	0	0	1	0	0	0
社会情報学部	13	9	3	0	1	0	0	0
医学部	25	19	2	1	3	0	1	0
理工学部	18	17	0	0	1	0	0	0
合 計	73	61	5	1	6	0	1	0

(3)尿検査

1)一次検査

	受検者数	結 果		陽性項目内訳		
		陽性者数	%	蛋白	潜血	糖
教育学部	974	15	1.5%	2	11	2
社会情報学部	442	10	2.3%	1	7	2
医学部	1,384	26	1.9%	2	21	3
理工学部	538	4	0.7%	1	1	2
合 計	3,338	55	1.6%	6	40	9

2)二次検査

	対象者数	結 果						医療機関紹介結果			
		異常なし	蛋白陽性	潜血陽性	潜血・蛋白陽性	糖陽性	未受検	異常なし	経過観察	要治療	結果報告なし
教育学部	15	13	0	1	1	0	0	1	0	2	
社会情報学部	10	8	0	2	0	0	0	2	0	0	
医学部	26	17	0	7	0	2	2	5	0	0	
理工学部	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	
合 計	55	41	0	10	1	3	2	8	0	2	

(4)胸部X線間接撮影検査

	受検者数	要 精 査		医療機関紹介結果			
		人数	%	異常なし	経過観察	要治療	結果報告なし
教育学部	974	5	0.5%	2	3	0	0
社会情報学部	441	1	0.2%	0	1	0	0
医学部	1,375	2	0.1%	0	0	0	2
理工学部	537	1	0.2%	1	0	0	0
合 計	3,327	9	0.3%	3	4	0	2

(5)内科診察

	受検者数	要 精 査						医療機関紹介結果			
		心雑音		貧血(眼瞼結膜所見)		甲状腺腫		異常なし	経過観察	要治療	結果報告なし
		人数	%	人数	%	人数	%				
教育学部	974	3	0.3%	0	0%	0	0%	2	1	0	0
社会情報学部	442	1	0.2%	0	0%	0	0%	1	0	0	0
医学部	1,384	2	0.1%	0	0%	0	0%	1	1	0	0
理工学部	538	7	1.3%	0	0%	0	0%	3	2	0	2
合 計	3,338	13	0.4%	0	0%	0	0%	7	4	0	2

令和元年度 精神保健調査結果

(1) 新入生の精神保健調査

学生健康診断時に提出した「健康状態記録票」内の「メンタルヘルス質問票」を基に要面接者を抽出し、医師(センター常勤医師・附属病院精神科医師)及び臨床心理士で面接を行った。(対象学生は、「健康状態記録票」提出者とし、編入生(社会情報学部・医学部・理工学部)を含めた。)

	対象学生数	要面接		面接を うけた 学生数	結果			
		人数	%		問題なし	随時の相談 を推奨	カウンセリング 継続	学生支援 センターで 継続対応
教育学部	229	2	0.9%	2	0	2	0	0
社会情報学部	118	3	2.5%	2	0	2	0	0
医学部	281	3	1.1%	3	1	0	2	0
理工学部	531	7	1.3%	4	1	0	2	1
合計	1,159	15	1.3%	11	2	4	4	1

要面接			
平成30年度		平成29年度	
人数	%	人数	%
4	1.7%	3	1.3%
5	3.8%	5	3.8%
4	1.4%	3	1.0%
12	2.0%	20	3.5%
25	2.0%	31	2.5%

※これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:45名(3.9%)

(2) 在校生の精神保健調査

学生健康診断時に提出した「メンタルヘルス質問票」を基に要面接学生を抽出し、医師(センター常勤医師・附属病院精神科医師)及び臨床心理士が面接を行った。(対象学生は、質問票(在校生版)提出者とし、今年度から大学院入学生、特別支援教育特別専攻科を含めた。)

	対象学生数	要面接		面接を うけた 学生数	結果				
		人数	%		問題なし	随時の相談 を推奨	カウンセリング 継続	医療機関 紹介	通院中
教育学部	742	17	2.3%	13	1	9	3	0	0
社会情報学部	329	2	0.6%	1	0	0	1	0	0
医学部	1,080	18	1.7%	12	0	8	3	0	1
理工学部	2,168	44(1)	2.0%	24	2	9	10	2	1
合計	4,319	83(1)	1.9%	50	3	26	17	2	2

要面接			
平成30年度		平成29年度	
人数	%	人数	%
16	2.2%	13	1.8%
6	1.9%	6	1.8%
15	1.5%	13(1)	1.3%
38(1)	1.7%	51(6)	2.3%
75(1)	1.7%	83(7)	1.9%

注:()は、通院中またはカウンセリング中にて、面接除外を希望した学生数で内数

※これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:166名(3.8%)

(3) 追記

質問内容

平成29年度から、新入生用と在校生用の違いをなくし、33項目版に一本化して、抑うつ状態、気分変調、精神病像、食行動異常、生活支障度、相談希望、既往歴等をスクリーニングしている。

結果の分析

対象学生数は、新入生(1,159名;前年1,240名)、在校生(4,319名;前年4,310名)で、新入生は微減、在校生が微増している。要面接者(スクリーニング陽性者)の割合は、新入生は昨年度より減少し1.3%(15名)、在校生は微増の1.9%(83名)となった。実際に面接を受けた者は、新入生は12名から11名とほぼ同数であったが、在校生は31名から50名と増加していた。一方、「これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴のあるもの」の人数は、新入生では45名(3.9%)と微増。これは、過去と比べて、入学時点でメンタルヘルス関連の診療科へ通院していた既往があるものが増加して来ていることを意味する。在校生についても、通院歴のあるものは今年度166名(3.8%)と例年に比べて同程度であり、両者合わせて全体として約4%の学生に通院歴のあることが示されている。今後も専門医療機関と連携して再発予防を視野に入れたメンタルヘルス対策を行っていく必要がある。面接結果について、新入生においては11名中9名が、在校生においても50名中47名が、何らかの対応を必要としており、カウンセリング業務の維持あるいは拡充の必要性が、引き続き認められた。この数年、陽性者の中で「問題なし」とされるものが相対的に減少して来ているのは、スクリーニング精度の上昇と同時に、重篤な疾患が見られない場合でも背景に発達障害特性が散見される陽性者が多く、その後の経過観察が必要と判断される場合が増えているという事情がある。現実には、この数年、障害学生サポートルームと共同して支援にあたる頻度と時間数が右肩上がりに増加している。当センターと連携する障害学生サポートルームにおける発達障害学生サポートの拡充が必要と考えられる。

面接実施状況について

面接については、荒牧地区にて常勤医師と同地区担当の非常勤臨床心理士で行った。同時に、附属病院精神神経科医師に、4日間にわたって来所していただき新入生の面接の一部をお願いした(今年度より期間を短縮した)。桐生地区(太田キャンパス対象者含む)については、常勤医師が赴き、面接を実施した。(一部は桐生地区担当の非常勤臨床心理士で行った。)

(4) 特記事項

健康診断期間や呼び出し以前に、自ら相談に来るケースが増えて来ていることについて注意を喚起したい。特に年度末の留年問題や単位取得をめぐる教員からのパワハラを訴えて、希死念慮といった明らかなたつ状態の症状を呈して来室するものが複数見られた。これらの学生に関しては、健康診断実施期間中に緊急に専門医紹介等を行う必要があった。これらの学生の人数は上記調査結果には含まれていない。教務関連部門および学部代表に連絡をし、こうした事態を予防するための学務面での体制を検討してもらうように依頼した。

令和元年度 学校生活に関する困りごと調査結果

平成28年4月に新たに本調査を実施したが、入学時に行った調査ということもあり、「新入学にあたっての困り事(不安事)」という観点から回答しており、実際の学校生活が開始されて解消されたという学生が半数であった。そのため、平成29年度は調査時期を変え、6月の講義の際、「学校生活に関する困りごと調査」(24項目)を実施。「相談を希望する」学生全員に対して、呼び出しを行い、改めて相談希望の有無をたずね、希望者に対してセンター医師による面接を行った。

昨年度より質問項目を25項目とし、まず「相談を希望する」「相談するべきかどうか迷っている」と答えた学生に対し面接をすすめた。面接は健康支援総合センター講師(内科医)が担当した。面接の結果で医療的なサポートが必要なケースは当センターへ、修学サポートが必要なケースに関しては、学生支援センターへ紹介し継続的な支援を行った。調査対象学生は、講義を受けた各学部新入生(大学院入学生、特別支援教育特別専攻科、編入生を除く)とした。

	対象 学生数	要 面 接		面接をうけた 学生数	結 果			
		人数	%		問題なし	随時の相談を 推奨	カウンセリング 継続	学生支援センターで継続対応 (障害学生サポートルーム紹介)
教育学部	202	15	7.4%	4	0	3	0	1
社会情報学部	245	4	1.6%	3	0	2	1	0
医学部	97	8(2)	8.2%	3	1	1	1	0
理工学部	514	22(1)	4.3%	11	1	7	2	1
合 計	1,058	49(3)	4.6%	21	2	13	4	2

注:()は、既に健康支援総合センターおよび障害学生サポートルームで継続相談している人数であり、内数

※「新入生の精神保健調査」との関係

	「学校生活に関する 困りごと調査」 要面接者数	「新入生の精神保健調査」 においても 要面接と判断された学生 数
教育学部	15	1
社会情報学部	4	0
医学部	8	3
理工学部	22	2
合 計	49	6

※「学校生活に関する困りごとについて」の相談希望の有無別結果

	○を記入	面接を うけた 学生数	結 果			
			問題なし	随時の相談を 推奨	カウンセリング 継続	学生支援センターで継続対応 (障害学生サポートルーム紹介)
相談希望あり	3(1)	1	0	0	0	1
相談を迷っている	35(2)	14	1	9	3	1
相談希望なし	11	6	1	4	1	0

注:()は、既に健康支援総合センターおよび障害学生サポートルームで継続相談している人数であり、内数

※「その他について」の相談の有無別結果

	○を記入	面接を うけた 学生数	結 果			
			問題なし	随時の相談を 推奨	カウンセリング 継続	学生支援センターで継続対応 (障害学生サポートルーム紹介)
相談希望あり	1(1)	0	0	0	0	0
相談を迷っている	29(2)	13	1	7	4	1
相談希望なし	19	8	1	6	0	1

注:()は、既に健康支援総合センターおよび障害学生サポートルームで継続相談している人数であり、内数

資料 5-6

令和元年度 学生特殊健康診断結果

特定化学物質及び有機溶剤を取り扱う学生を対象とする特殊健康診断を実施した。

実施日：令和元年12月3日(火)・4日(水)

受検者数	結 果		
	異常なし	要観察	要精検
214	201	10	3

要精検項目内訳

肝機能	尿蛋白
3	0

精密検査結果

異常なし	経過観察	要治療
0	3	0

令和元年度 外国人留学生健康診断結果

本学では、外国人留学生3名に感染性結核症の発生を認めた経験から、第8回健康支援総合センター運営委員会(平成21年8月3日開催)において、外国人留学生への特別健康診断項目としてクオンティフェロンTB(結核感染診断マーカー検査)を行うことが決定され、以降現在に至るまで毎年検査を実施している。昨年度よりT-SPOTに変更して検査を実施した。以下にその結果を示す。また、検査時期は、通常秋入学の学生に対応するため11月に実施しているが、理工学部1年生のみ2年次から桐生地区に修学場所が移ることから、陽性治療者に対する保健所の経過観察(半年間の服薬指導等)を円滑に行うため、5月に検査を実施している。留学生の受け入れが、今後、春秋のみに限定されず入学者数も増加することを考えて、感染症予防の観点からも診断書の提出の義務付け及び入学後早期の胸部レントゲン撮影などの導入も検討していく必要があると考えられる。

留学生のメンタルヘルスチェックは、例年通り自記式調査票を用いて行っており、他学生と同じ基準で呼び出しを行い、センター医師による面談を実施している。メンタルヘルス不調を訴える留学生への対応(英語によるカウンセリングや受診のサポートなど)の要請も増加が予想される。

今年度は留学生1名が、予定していた健診前に感染性結核を発症し、隔離入院加療を行った。保健所の指示に従い、濃厚接触者の把握のための情報収集と提供を行ったが、この例を踏まえ、入国後すぐの胸部レントゲン検査の実施に向けて、次年度よりの留学生健診の時期について関係者と検討が行われた。

1. 受検状況

	対象者数	受検者	
		人数	%
教育学部	22	22	100%
社会情報学部	14	14	100%
医学部	19	19	100%
理工学部	60	60	100%
合計	115	115	100%

対象者:学部および大学院1年生、学部3年次編入生、
令和年4月以後に入学した研究生・聴講生・特別研究学生・特別聴講学生、
昨年度未受検者

2. T-SPOT検査結果

	受検者数	陰性(-)		陽性(+)		判定保留		医療機関紹介結果		
		人数	%	人数	%	人数	%	正常	潜在性肺結核として治療	経過観察
教育学部	22	19	86.4%	3	13.6%	0	0%	0	1	2
社会情報学部	14	14	100%	0	0%	0	0%	0	0	0
医学部	19	18	94.7%	0	0%	1	5.3%	0	0	0
理工学部	60	58	96.7%	2	3.3%	0	0%	0	1	1
合計	115	109	94.8%	5	4.3%	1	0.9%	0	2	3

※令和元年度 医学部1年生・編入生陽性率0.3%

※陽性者は医療機関を紹介

※判定保留者1名は経過観察とした。

【参考資料:過去の留学生健康診断結果】

・クオンティフェロンTBゴールド

	受検者数	陰性(-)		陽性(+)		疑陽性(±)	
		人数	%	人数	%	人数	%
平成28年度	94	79	84.0%	8	8.5%	7	7.4%
平成29年度	110	94	85.5%	11	10.0%	5	4.5%

※医学部1年生・編入生陽性率:平成28年度0%,平成29年度0.7%

・T-SPOT

	受検者数	陰性(-)		陽性(+)		判定保留	
		人数	%	人数	%	人数	%
平成30年度	94	90	95.7%	3	3.2%	1	1.1%

※医学部1年生・編入生陽性率:0%

3. メンタルヘルス質問票による精神保健調査

	受検者数	問題なし		要面接者数	
		人数	%	人数	%
教育学部	22	22	100%	0	0%
社会情報学部	14	14	100%	0	0%
医学部	19	19	100%	0	0%
理工学部	60(1)	59	98.3%	1(1)	1.7%
合計	115(1)	114	99.1%	1(1)	0.9%

※()は、現在カウンセリング中で面接除外した学生数で内数

資料 5-8

令和元年度 健康支援総合センター利用状況

利用人数(学生・教職員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧キャンパス	教育学部	32	53	28	29	12	8	113	42	22	16	11	12	378
	社会情報学部	23	25	24	23	10	15	20	27	20	12	12	9	220
	医学部	7	12	10	10	4	3	6	7	5	2	2	5	73
	理工学部	28	20	26	15	8	0	12	9	5	10	0	2	135
昭和キャンパス	医学部	11	15	14	17	8	12	8	8	9	4	7	2	115
桐生・太田キャンパス	理工学部	5	5	5	1	3	9	5	4	6	5	5	3	56
学 生 合 計		106	130	107	95	45	47	164	97	67	49	37	33	977
教 職 員		4	5	5	10	7	4	5	12	6	8	7	2	75
合 計		110	135	112	105	52	51	169	109	73	57	44	35	1,052

利用件数(学生)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	61	67	48	44	11	8	27	29	13	18	7	1	334
こころの健康相談	44	61	55	49	32	39	41	48	51	31	30	32	513
健康診断書発行	5	2	4	2	2	0	96	20	3	0	0	0	134
合 計	110	130	107	95	45	47	164	97	67	49	37	33	981

利用件数(教職員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	0	3	1	2	0	2	1	3	1	0	1	0	14
こころの健康相談	4	2	4	8	7	2	4	9	5	8	6	2	61
健康診断書発行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	4	5	5	10	7	4	5	12	6	8	7	2	75

資料 5-9

令和元年度 健康相談の対応内容

【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
からだの健康相談	相談のみ（助言・指導）	4	4	3	3	1	1	1	5	3	2	1	0	28	
	外傷処置	4	5	4	3	1	1	5	3	1	3	0	0	30	
	検査	1	3	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	9	
	投薬	28	35	24	24	6	3	13	18	3	11	1	1	167	
	休養ベッド使用	7	113	5	5	1	1	5	1	2	1	2	0	143	
	健康・保健用器具貸し出し	4	4	0	6	1	0	1	0	0	0	0	0	16	
	医療機関紹介	15	12	9	12	2	3	6	3	4	3	3	0	72	
	救急転送	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	
こころの健康相談	医師	メンタルヘルス相談	36	44	30	24	16	25	29	31	32	21	24	20	332
		カウンセラー紹介	2	2	0	1	0	0	0	2	3	0	0	0	10
		投薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		障害学生サポートルーム紹介	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	5
	カウンセラー	医療機関紹介	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
		カウンセリング	8	17	25	25	16	14	12	17	19	10	6	12	181
		センター医師紹介	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		医療機関紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		113	241	104	104	45	50	73	81	71	51	37	33	1,003	

【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
健康相談	相談のみ（助言・指導）	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	5	
	外傷処置	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	検査	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	投薬	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	休養ベッド使用	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
	健康・保健用器具貸し出し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医療機関紹介	0	1	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	6	
	救急転送	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
こころの健康相談	医師	メンタルヘルス相談	4	2	4	8	7	2	4	9	5	8	6	2	61
		カウンセラー紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		投薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		障害学生サポートルーム紹介	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0
	カウンセラー	医療機関紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		カウンセリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		センター医師紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		医療機関紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		4	6	6	10	7	5	5	14	6	8	7	2	80	

令和元年度 こころの健康相談者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧キャンパス	教育学部	12	16	12	11	8	6	11	12	14	10	8	12	132
	社会情報学部	7	10	12	10	5	12	13	19	15	7	8	8	126
	医学部	0	4	4	5	4	2	3	4	5	2	2	2	37
	理工学部	12	13	11	7	5	0	1	6	2	4	0	2	63
昭和キャンパス	医学部	8	13	11	15	7	12	8	7	9	3	7	5	105
桐生・太田キャンパス	理工学部	5	5	5	1	3	7	5	0	6	5	5	3	50
学 生 合 計		44	61	55	49	32	39	41	48	51	31	30	32	513
教 職 員		4	2	4	8	7	2	4	9	5	8	6	2	61
合 計		48	63	59	57	39	41	45	57	56	39	36	34	574

令和元年度 こころの健康相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理性格	20	31	19	16	12	7	29	20	12	12	9	4	191
対人関係	6	9	7	8	13	6	4	8	7	5	8	0	81
心体の不調	15	14	34	29	9	21	11	17	21	6	9	16	202
修学	5	8	7	7	6	7	2	2	12	10	9	7	82
その他	4	5	5	11	6	4	8	13	9	8	2	8	83
合 計	50	67	72	71	46	45	54	60	61	41	37	35	639

1回の相談につき、相談内容が複数場合があります。

資料 5-11

令和元年度 公認心理師・臨床心理士による心理カウンセリング報告

1. 学生

カウンセリング人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧地区	7	8	10	11	11	9	6	9	9	6	6	6	98
桐生地区	20	20	18	20	11	11	18	17	15	15	10	9	184
合計	27	28	28	31	22	20	24	26	24	21	16	15	282

カウンセリング回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧地区	8	17	25	25	16	12	12	17	19	10	6	12	179
桐生地区	28	30	29	36	14	13	26	23	24	22	15	15	275
合計	36	47	54	61	30	25	38	40	43	32	21	27	454

カウンセリング動機内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理性格	12	14	12	18	8	5	17	12	11	9	9	7	134
対人関係	5	10	11	9	7	3	4	4	6	3	3	0	65
心体の不調	6	13	23	20	8	9	7	7	12	4	3	6	118
修学影響心理等	12	7	10	15	8	7	10	11	9	11	6	9	115
その他	3	7	10	13	6	4	9	8	9	7	4	6	86
合計	38	51	66	75	37	28	47	42	47	34	25	28	518

カウンセリング動機内訳は複数の場合あり

2. 桐生キャンパスにおける職員からの学生に関する相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1	3	2	1	0	2	2	1	2	0	0	0	14

3. カウンセラー配置状況

	荒牧地区		桐生地区	
	面接時間	カウンセラー	面接時間	カウンセラー
月曜日	10:00-17:00	内山 知子	13:00~17:00	畠山 正文
火曜日	13:00-17:00	鈴木 志津	13:00-17:00 【隔週】	大須賀英里
			(9:00~12:00)	(酒井 晃洋※)
水曜日			12:00~16:00	諸星 聡美
木曜日			13:00-17:00 【隔週】	鈴木 志津
金曜日			13:00-17:00 【隔週】	川合 利恵

※キャンパスソーシャル・ケースワーカー：業務内容にカウンセリングも業務も追加

資料 5-12

令和元年度 疾病領域別利用者数

【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	呼吸器系	15	21	16	10	1	2	4	10	3	9	3	1	95
	消化器系	1	3	2	5	4	1	1	2	1	0	0	0	20
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内分泌・代謝系	2	2	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	9
	その他	10	13	7	7	1	2	7	7	4	2	2	0	62
精神科	44	61	55	49	32	39	41	48	51	31	30	32	513	
外科・整形外科	16	14	13	8	2	1	10	10	2	4	1	0	81	
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	
泌尿器科	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
耳鼻咽喉科	3	5	1	2	0	0	1	0	1	1	0	0	14	
眼科	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
皮膚科	6	6	3	7	3	2	2	0	1	2	0	0	32	
歯科・口腔外科	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
産婦人科	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	
合計		105	128	103	93	43	47	68	77	64	49	37	33	847

【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	消化器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	6
精神科	4	2	4	8	7	2	4	9	5	8	6	2	61	
外科・整形外科	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
耳鼻咽喉科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皮膚科	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
歯科・口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		4	5	5	10	7	4	5	12	6	8	7	2	75

令和元年度 診療科別医療機関紹介件数

【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	呼吸器系	4	3	3	3	0	0	1	0	1	1	2	0	18
	消化器系	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	5
精神科		2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
外科・整形外科		2	3	2	3	1	1	2	2	1	1	0	0	18
脳神経外科		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
泌尿器科		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
耳鼻咽喉科		2	2	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	9
眼科		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科		3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
歯科・口腔外科		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
産婦人科		1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計		17	12	10	12	2	5	6	3	4	3	3	0	77

【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	消化器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
精神科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科・整形外科		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
眼科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科・口腔外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	1	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	6

令和元年度 薬剤別処方日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
抗 生 剤	0	6	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	14
解熱・消炎・鎮痛剤	9	8	11	3	0	0	0	6	0	3	0	3	43
感 冒 剤	15	36	18	15	3	3	6	15	2	9	3	0	125
鎮咳剤	3	6	9	0	0	3	1	3	0	9	0	0	34
去痰剤	6	12	9	3	0	3	1	9	0	9	0	0	52
漢方剤	3	9	9	0	0	0	0	6	3	3	0	0	33
健胃剤・抗潰瘍剤	3	3	3	3	2	0	0	3	0	0	0	0	17
整 腸 剤	0	3	6	11	0	0	0	3	0	0	0	0	23
鎮 吐 剤	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6
抗アレルギー剤	0	0	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	8
含嗽剤	15	11	6	6	3	0	3	3	0	6	0	0	53
口腔内塗布剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外用副腎皮質ホルモン剤	0	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	6
外用抗生剤	2	3	1	3	0	0	2	2	0	3	0	0	16
外用抗ウイルス剤	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外用保湿剤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
外用消炎剤	13	13	10	6	0	1	4	5	1	0	0	0	53
広範囲抗菌点眼剤	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
抗炎症点眼剤	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
人工涙液型点眼剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経口補水液	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
合 計	72	117	89	58	10	10	23	59	6	43	3	3	493

※の薬剤については、処方日数ではなく、個装単位とした。

資料 5-15

令和元年度 桐生地区・保健室利用状況

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学部生	82	83	67	67	20	24	40	41	45	48	27	18	562
大学院生	37	16	18	21	9	9	10	11	14	11	6	6	168
学生合計	119	99	85	88	29	33	50	52	59	59	33	24	730
教職員	17	9	16	12	4	7	29	13	10	8	2	9	136
合計	136	108	101	100	33	40	79	65	69	67	35	33	866

利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	54	57	36	37	10	12	16	26	22	24	5	11	310
こころの健康相談	47	41	45	54	19	18	51	30	38	35	20	18	416
健康診断書発行	27	2	5	0	0	0	3	0	2	0	0	0	39
キャンパスソーシャル・ケースワーカー関係	3	0	6	2	1	5	5	8	1	2	3	4	40
学生教育研究災害傷害保険関係	5	8	9	7	3	5	4	1	6	6	7	0	61
合計	136	108	101	100	33	40	79	65	69	67	35	33	866

利用内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	相談のみ(助言・指導)	18	17	19	10	2	0	5	11	9	13	3	6	113
	外傷処置	13	10	3	10	3	7	5	5	4	4	2	2	68
	検査	11	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	19
	休養ベッド使用	8	12	11	9	3	1	4	7	4	1	0	0	60
	保健用器具貸し出し	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	2	7
	医療機関紹介	4	5	1	2	2	0	2	1	4	4	0	0	25
	救急転送	0	6	1	6	0	0	0	1	1	2	0	1	18
こころの健康相談	医師	18	8	14	17	5	3	23	6	12	13	5	3	127
	カウンセラー	29	33	31	37	14	15	28	24	26	22	15	15	289
合計		101	98	81	91	29	30	67	56	60	59	25	29	726

※健康支援総合センター医師による相談状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談回数 (半日)	精神科医		1		1									2
	内科医	2	2	3	3	1	1	8	2	4	3	1	1	31

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	学部生	5	4	8	10	2	0	4	1	3	7	4	1	49
	大学院生	0	2	5	6	2	1	2	3	3	2	1	0	27
	職員	13	2	1	1	1	2	17	2	6	4	0	2	51

令和元年度 昭和地区・学生健康相談室利用状況

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医学科	5	5	1	3	0	3	6	6	3	3	0	0	35
保健学科	5	7	1	5	2	3	6	4	1	1	2	0	37
大学院	1	5	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	11
学生合計	11	17	4	8	2	6	12	11	5	4	2	1	82
教職員	1	1	3	6	1	1	0	1	0	0	1	1	16
合計	12	18	7	14	3	7	12	12	5	4	3	2	98

利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康相談	1	4	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	11
外傷処置	1	1	2	1	0	0	0	3	3	1	1	1	14
ベット休養	3	1	1	4	0	1	2	5	1	0	0	1	19
予防接種相談	0	0	0	0	2	5	5	4	1	2	2	0	21
医療機関紹介	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	5	8	4	8	3	7	8	12	5	3	3	2	68

1. 「予防接種・感染症検査証明書」業務

新入生（医学部1年、編入生）283名は入学前に医療機関を受診し、「予防接種・感染症検査結果証明書」を記入してもらい、入学時に回収している。項目はB型肝炎、結核、麻疹、風疹、水痘、ムンプスの6項目である。B型肝炎、結核は検査結果、麻疹、風疹、水痘、ムンプスの4種の感染症については予防接種歴を提出し、必要に応じて追加ワクチン接種、抗体価検査を行ってもらっている。提出書類の不備等がある学生に対して、検査、ワクチン接種がスムーズに受けられるよう指導している。

【参考資料（予防接種・感染症検査結果証明書より）】

結核検査（IGRA検査：QFT検査、T-SPOT検査）

検査項目	人数	陰性		陽性		判定保留		判定不能	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
QFT検査	65	64	98%	0	0%	1	2%	0	0%
T-SPOT検査	218	217	99.5%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%

B型肝炎抗体価検査結果（感染症・予防接種）

人数	陰性		陽性	
	人数	%	人数	%
283	270	95.4%	13	4.6%

2. ワクチン接種業務

B型肝炎ワクチン接種状況

接種対象者数	接種人数			副反応	
	1回目（6月）	2回目（7月）	3回目（11月）	人数	症状
271	269	271	271	0	

B型肝炎ワクチン接種後の抗体価検査結果（12月）

人数	陰性		陽性	
	人数	%	人数	%
271	1	0.4%	270	99.6%

3. その他の業務

月	内 容
4月	学生定期健康診断再検査
4～9月	新入生予防接種・感染書証明書内容確認、データ整理作業
7月	医学科オープンキャンパスの救護
8月	保健学科オープンキャンパスの救護
10月	留学生健康診断（QFT採血）

資料 5-17

令和元年度 キャンパスソーシャル・ケースワーカー業務について

学生が修学から離脱することを防止し、円滑な学生生活がおこなえるようにすることを目的とし、臨床心理士の資格を有するキャンパスソーシャルケースワーカーを配置した。教職員からの依頼に応じて、健康支援総合センターの医師や保護者とも連携して業務を行っている。

実施キャンパス	学 部	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧・昭和地区	教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会情報学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理工学部	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
桐生地区	教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会情報学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理工学部	2	0	3	2	0	2	3	3	1	0	1	0	17
合 計		2	0	4	2	0	2	3	3	1	0	1	0	18

※対象学生の例

- ①欠席調査結果における面接対象者であり、教職員からの頻繁な連絡にも関わらず連絡が不能である状態
- ②欠席調査結果における面接対象者ではないが、教職員からの頻繁な連絡にも関わらず連絡が不能である状態
- ③無届けで長期に授業等を欠席している状態

※業務内容の例

- ①当該学生に対しメール及び電話、郵送などにより、担当教官等に連絡を取るよう促すこと
- ②当該学生に対し、大学での支援体制(障害学生サポートルーム、学習支援、キャリアサポートなど)を説明し、利用を勧める
- ③メンタルヘルスに問題を抱えている可能性がある学生に対しては、健康支援総合センターの受診を促す